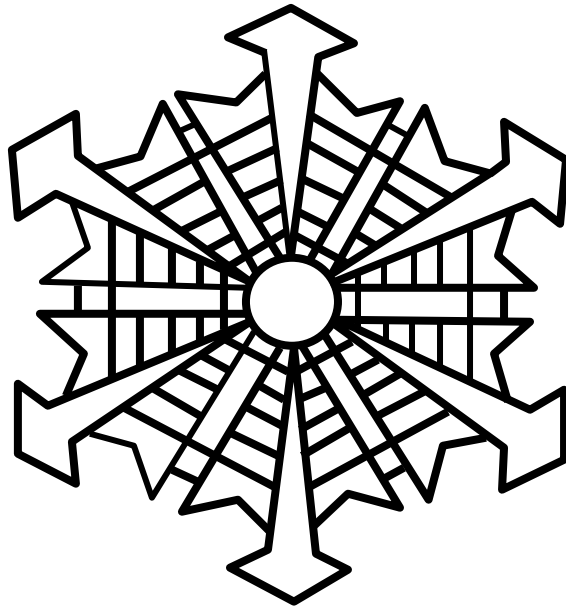


消 防 年 報

平成26年（2014年）版



宇部・山陽小野田消防局

平成27年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防局の消防現勢及び平成２６年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは、平成２７年４月１日、火災・救急・救助等に関するものは平成２６年１２月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面で御活用いただき宇部・山陽小野田消防局について御理解いただければ幸いです。

平成２７年６月

宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局

目 次

管 内 概 況

1 構成市の概要	3
（1）宇部市の概要	3
（2）山陽小野田市の概要	3
2 構成市の位置図	4
3 消防の沿革	5
（1）宇部市消防の沿革	5
（2）小野田市消防の沿革	8
（3）山陽町消防の沿革	10
（4）山陽小野田市消防の沿革	11
（5）宇部・山陽小野田消防組合の沿革	12
4 過去の主な災害等	14
（1）宇部・山陽小野田地区における自然災害	14
（2）宇部市の主な火災記録	15
（3）旧小野田市の主な火災記録	15
（4）旧山陽町の主な火災記録	16
（5）山陽小野田市の主な火災記録	16
5 応援協定等締結状況	17

総 務

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	21
2 消防局・消防署職員配置表	23
3 消防職員階級別勤続年数	26
4 消防職員階級別年齢	27
5 特殊技能・技術資格者	28
6 消防予算	29
7 特殊勤務手当	30
8 消防庁舎	31

予 防

1 防火対象物	35
（1）棟数及び立入検査	35
（2）防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	36
2 建築確認同意処理件数	37
3 防火管理者選任状況	38
4 危険物施設設置状況	39
5 危険物許認可状況	40
6 危険物施設の現況及び立入検査状況	41
7 宇部・小野田地区特別防災区域	42
（1）宇部市	42

(2) 山陽小野田市	43
8 火薬類取締法関係処理状況	45
9 消防協力団体の現況	46

警 防

1 消防配置図	51
2 消防車両	52
3 消防水利	56
(1) 消火栓	56
(2) 防火水槽	56
(3) その他	56
4 化学消火剤備蓄状況	56
5 火災	57
(1) 月別火災発生状況	57
(2) 火災種別ごとの件数	58
(3) 火災種別ごとの焼損面積	58
(4) 火災種別ごとの損害額	59
(5) 火災種別ごとの死者及び負傷者	59
(6) 曜日別火災発生状況	60
(7) 時間帯別火災発生状況	61
(8) 過去5年間の火災発生状況	62
(9) 過去5年間の火災種別件数	63
(10) 過去5年間の火災原因別件数	64
(11) 過去5年間の焼損程度別件数	65
6 救急	66
(1) 過去5年間の救急状況	66
(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	67
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	68
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	69
(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	70
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	71
(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	72
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	73
7 救助	74
8 火災以外の出動	75
9 救急講習	76

情 報 指 令

1 消防通信施設	79
(1) 消防指令センター	79
(2) 電話回線	79
(3) システム構成図	80
(4) 自家用発電機	81

（５）無線局	82
２　１１９回線着信件数	83

消　防　団

１　消防団組織図	87
（１）宇部市消防団	87
（２）山陽小野田市消防団	88
２　消防団配置図	89
（１）宇部市消防団配置図	89
（２）山陽小野田市消防団配置図	90
３　消防団員階級別年齢	91
４　消防団員階級別勤続年数	92
５　消防団員年報酬及び費用弁償	93
６　消防団災害出動状況	94
７　消防団車両及び機械器具	95
（１）配備管理状況	95
（２）消防ポンプ自動車	97
（３）小型動力ポンプ積載車	98
（４）小型動力ポンプ	99
（５）その他の車両	100
８　消防団機庫	101

管内概況



宇部・山陽小野田消防組合議会

宇部・山陽小野田消防組合議会定例会を毎年２月と１１月に開催しています。また、必要がある場合において、臨時会を開催しています。

一目でわかる消防統計

平成27年4月1日現在

管内概要 (P1~17)



管轄面積
420.70km²



構成市
宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数
人口 234,254 人
世帯数 107,222 世帯

総務関係 (P19~32)



職員数
定員 298 人
実員 297 人



常備消防費予算
2,903,144 千円



署所
消防署 4 署
出張所 4 所

予防関係 (P33~47)



防火対象物
9,518 施設



危険物施設
1,567 施設



防火クラブ
幼年消防クラブ 17
少年消防クラブ 8
婦人防火クラブ 2

警防関係 (P49~56)



消防車
ポンプ車等 30 台
その他車両 31 台



救急車
高規格救急自動車 11 台



消防水利
消火栓 3,551 基
防火水槽 367 基

火災等統計関係 (P57~76)



火災件数
火災件数 109 件
死者 2 人
負傷者 20 人



救急件数
出動件数 10,396 件
搬送人員 8,657 人

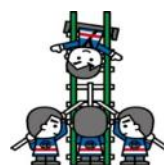


救助件数
出動件数 140 件
救助人員 70 人

消防団関係 (P85~103)



宇部市消防団
分団数 15 分団
団員数 640 人



山陽小野田市消防団
分団数 13 分団
団員数 416 人

管内概況

1 構成市の概要

(1) 宇部市の概要



宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、西は山陽小野田市、東は山口市、北は美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は山陽本線及び宇部線が東西に走り、高速道路は山陽自動車道が市の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港があり、山口宇部空港も市街地に近い位置にあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、温暖で、雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、市中央部以北の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。また、南は海に面していることから、山と海の幸にも恵まれています。市街地には真締川や厚東川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

今日の宇部市発展の礎は、明治期以降の石炭産業の振興により築られました。

その後、我が国のエネルギーの需要構造の転換にいち早く対応し、近代的な工業都市へと変ぼうを遂げ、現在も瀬戸内有数の臨海工業地帯を形成しています。

この間、急激な工業化の進展に伴い生じた、ばいじん降下による大気汚染などの公害問題に対し、産官学民一体となった「宇部方式」による公害対策に取り組み、この環境改善を図った実績は、産業発展と市民福祉の調和を目指す先進的事例として広く知られるところとなり、平成9年（1997年）、国連環境計画（UNEP）から「グローバル500賞」を受賞し、これまでの環境の保護・改善への功績が高く評価されています。

(2) 山陽小野田市の概要



山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、東は宇部市、西は下関市、北は美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。

市中央部から南部の丘陵地や干拓地を中心に発達した市街地を取り囲むように里山、河川、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園や海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。

気候は、年間を通じて温暖で、降水量の少ない典型的な瀬戸内型気候を示し、生活環境としても産業立地上も好条件を備えています。また、市内には山陽自動車道、JR山陽新幹線厚狭駅があり、隣の宇部市には山口宇部空港があるなど、高速交通網の利便性にも富んでいます。

古くから山陽道や山陰と山陽を結ぶ交通要衝の地として栄え、古墳時代から当地を治めていた豪族がいたことを示す古墳群が分布しています。中世から近世初頭に「信濃の国から長門の国に住み着いて厚狭川に大きな堰を造って、荒地であった千町ヶ原に水路を引き、美田をつくった」という大工事がなされていますが、公的な記録には、いつ誰によって築かれたのか、発見されておらず、ここから「厚狭の寝太郎」伝説が誕生したと言われています。

江戸時代には石炭産業が盛んになり、明治期以降、日本初の民間セメント会社が創立されるなど、窯業・化学工業を中心に工業の街として発展してきました。この窯業の歴史を踏まえて、平成15年（2003年）、きららビーチ焼野にガラス工房がオープンし、全国レベルの現代ガラス展なども開催されています。

2 構成市の位置図



	人口(人)	世帯数	面積(km ²)	市の木	市の花
宇 部 市	169,821	78,622	287.71	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	64,433	28,600	132.99	クロガネモチ	ツツジ
計	234,254	107,222	420.70	—	—

平成27年4月1日現在

3 消防の沿革

(1) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921 年 大正 10 年 11 月 11 日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を 4 部に分け、各部 32 人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931 年 昭和 6 年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939 年 昭和 14 年 4 月 1 日	消防組を警防団に改名し、市域を 11 分団、各 250 人程度に編成
1941 年 昭和 16 年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943 年 昭和 18 年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944 年 昭和 19 年 3 月 24 日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第 137 号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947 年 昭和 22 年 9 月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに 11 分団定員 419 人の消防団が結成
1947 年 昭和 22 年 12 月 23 日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948 年 昭和 23 年 3 月 7 日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948 年 昭和 23 年 7 月 24 日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950 年 昭和 25 年 9 月 16 日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954 年 昭和 29 年 10 月 1 日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の 4 村が合併
1956 年 昭和 31 年 11 月	消防団の機構改革を行い、11 分団、600 人に統合
1960 年 昭和 35 年 9 月 1 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転

(西暦) 年 月 日	沿 革
1963 年 昭和 38 年 9 月 10 日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車 1 台を配備して、救急隊を編成
1970 年 昭和 45 年 11 月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1977 年 昭和 52 年 4 月 1 日	阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977 年 昭和 52 年 4 月 1 日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978 年 昭和 53 年 4 月 18 日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 97 人に増員
1980 年 昭和 55 年 4 月 1 日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 124 人に増員
1982 年 昭和 57 年 12 月 6 日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988 年 昭和 63 年 3 月 31 日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989 年 平成 元年 1 月 19 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990 年 平成 2 年 11 月 30 日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991 年 平成 3 年 8 月 7 日	救急救命士養成のため、救急救命中央研修所に職員を派遣
1992 年 平成 4 年 11 月 6 日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995 年 平成 7 年 4 月 1 日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 161 人に増員
1995 年 平成 7 年 8 月 1 日	宇部地区地震連絡協議会を設立(同年 7 月 31 日)し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1996 年 平成 8 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 164 人に増員
1996 年 平成 8 年 10 月 1 日	宇部市消防職員委員会設置
1997 年 平成 9 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 170 人に増員
1998 年 平成 10 年 4 月 1 日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を 176 人に増員
1999 年 平成 11 年 10 月 1 日	消防緊急通信指令施設更新

(西暦) 年 月 日	沿 革
2000 年 平成 12 年 4 月 1 日	消防の充実拡充強化を図るため、職員定数を 184 人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000 年 平成 12 年 10 月 1 日	阿知須町から同町の消防業務を受託し、業務開始
2002 年 平成 14 年 4 月 1 日	中央消防署に救助係を設置
2002 年 平成 14 年 10 月 16 日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を、阿知須町きらら浜で実施
2003 年 平成 15 年 8 月 1 日	救命率向上を図るため、山口大学医学部付属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）運用開始
2004 年 平成 16 年 11 月 1 日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1 本部、2 消防署、3 出張所、職員定数を 194 人とした。 また宇部市消防団の定数を宇部消防団 560 人、楠消防団 180 人とした。
2007 年 平成 19 年 3 月 1 日	高規格救急自動車 1 台を導入し、保有する 7 台全ての救急車の高規格化が完了
2007 年 平成 19 年 4 月 1 日	宇部消防団に方面隊を組織し、定数 520 人に変更
2008 年 平成 20 年 5 月 30 日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2009 年 平成 21 年 10 月 31 日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011 年 平成 23 年 3 月 14 日	緊急消防援助隊（車両 4 台、13 人）を東日本大震災の被災地へ派遣

(2) 小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1898 年 明治 31 年 2 月	須恵村に公設消防組を設置
1908 年 明治 41 年 9 月	高千帆村に公設消防組を設置
1939 年 昭和 14 年 4 月 15 日	小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名
1940 年 昭和 15 年 11 月 3 日	小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編
1947 年 昭和 22 年 6 月 27 日	小野田市消防団を結成し、団本部と 8 個分団を編成、450 人の組織を設置
1948 年 昭和 23 年 12 月 1 日	市役所社会課内に小野田市消防本部を設置
1949 年 昭和 24 年 5 月 1 日	小野田市大字小野田 5993 番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下 5 人で、消防業務を開始
1950 年 昭和 25 年 4 月 1 日	小野田市消防団員の定員を 450 人から 275 人に改正
1951 年 昭和 26 年 1 月 18 日	消防団第 2 分団の水上部を独立させ、水上分団を設置
1951 年 昭和 26 年 8 月 3 日	市長、消防長、団長、市議会議員 4 人、一般有識者 10 人により消防委員会を設置
1955 年 昭和 30 年 5 月 30 日	高松宮殿下を迎え、消防自動車 80 台、消防職団員 3,000 人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行
1963 年 昭和 38 年 3 月 9 日	小野田市大字小野田 5896 番地の 1 に消防本部・署庁舎を新築移転
1963 年 昭和 38 年 4 月 1 日	小野田市危険物安全協会を設立 (10 事業所)
1964 年 昭和 39 年 12 月 11 日	非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局 (10W 1 基) ・陸上移動局 (10W 3 基) ・携帯陸上移動局 (1W 2 基)
1965 年 昭和 40 年 10 月 1 日	救急業務を開始
1970 年 昭和 45 年 12 月 1 日	小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立 (34 事業所)
1977 年 昭和 52 年 10 月 17 日	大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置 仮眠室及び車庫を増築
1978 年 昭和 53 年 12 月 5 日	一斉指令装置を設置

(西暦) 年 月 日	沿 革
1981 年 昭和 56 年 1 月 6 日	ホース乾燥塔、テレビ監視装置設置、庁舎増築
1983 年 昭和 58 年 7 月 1 日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985 年 昭和 60 年 6 月 1 日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後 6 保育園がクラブを結成
1985 年 昭和 60 年 7 月 19 日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985 年 昭和 60 年 9 月 1 日	小野田市防火委員会を結成
1987 年 昭和 62 年 11 月 11 日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990 年 平成 2 年 5 月 23 日	山口県消防大会を開催
1992 年 平成 4 年 4 月 1 日	女性消防団員 10 人を採用
1993 年 平成 5 年 4 月 1 日	消防職員定数を 54 人から 57 人に増員
1995 年 平成 7 年 9 月 1 日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995 年 平成 7 年 10 月 24 日	山口県幼年消防大会を開催
1996 年 平成 8 年 4 月 1 日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997 年 平成 9 年 3 月 26 日	耐震性貯水槽（100 t）新設、以後市街地に 9 基設置
1999 年 平成 11 年 3 月 25 日	消防緊急通信指令施設（I 型）が完成
1999 年 平成 11 年 4 月 1 日	小野田市高栄一丁目 6 番 1 号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始（本庁舎：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建）
1999 年 平成 11 年 7 月 1 日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000 年 平成 12 年 1 月 20 日	消防訓練塔完成（主塔：5 階建、補助塔：3 階建）
2000 年 平成 12 年 3 月 29 日	化学消火薬剤備蓄タンク（20 k l）及び消火薬剤倉庫が完成
2000 年 平成 12 年 6 月 8 日	山口県危険物安全大会を開催
2002 年 平成 14 年 3 月 27 日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002 年 平成 14 年 10 月 17 日	全国消防長会予防委員会を開催
2005 年 平成 17 年 3 月 21 日	小野田市消防委員会を廃止

(3) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948 年 昭和 23 年 8 月	厚狭町消防本部を設置
1956 年 昭和 31 年 9 月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963 年 昭和 38 年 1 月	山陽町危険物安全協会を設立
1971 年 昭和 46 年 4 月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973 年 昭和 48 年 6 月	山陽地区消防組合を設立（許可番号：指令地方第 327 号） 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974 年 昭和 49 年 10 月	楠出張所開設、職員 6 人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台配備 し業務開始。埴生出張所（旧埴生消防事務室）も職員 5 人で開設し、 消防団消防ポンプ自動車を管理
1974 年 昭和 49 年 12 月	山陽署車庫を増築
1981 年 昭和 56 年 4 月	埴生出張所完成、職員 7 人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台を配備
1984 年 昭和 59 年 2 月	山陽署車庫を増築
1993 年 平成 5 年 3 月	消防緊急通信指令施設（I 型）を設置
1993 年 平成 5 年 7 月	消防組合発足 20 周年記念式典を開催
1994 年 平成 6 年 3 月	消防用無線中継局を松岳山に開局
1994 年 平成 6 年 11 月	山陽署事務室等増築
2000 年 平成 12 年 8 月	山口県総合防災訓練を実施
2002 年 平成 14 年 4 月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003 年 平成 15 年 6 月	山口県危険物安全大会を開催
2004 年 平成 16 年 4 月	職員 8 人を（内 3 人救急救命士）採用し実員 64 人に増員
2004 年 平成 16 年 5 月	山口県消防大会を開催
2004 年 平成 16 年 10 月 31 日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004 年 平成 16 年 11 月 1 日	山陽町消防本部を設立 1 本部 1 署 1 出張所、消防職員 54 人で業務開始

(4) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2005 年 平成 17 年 3 月 22 日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2 消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目 6 番 1 号）が発足、1 本部 2 署 1 出張所、条例定数 110 人の消防職員による消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も 2 市町の消防団が統合し、1 団本部、22 分団、条例定数 503 人による消防団組織を編成
2005 年 平成 17 年 9 月 17 日	山口県消防操法大会応急小型ポンプの部において埴生連合分団が初優勝及び応急自動車ポンプの部において高千帆分団が準優勝
2006 年 平成 18 年 3 月 20 日	消防緊急通信指令システム（I 型）を更新
2006 年 平成 18 年 5 月 28 日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、本市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2006 年 平成 18 年 10 月 1 日	女性消防団員を 6 人新たに採用、女性消防団員 16 人
2007 年 平成 19 年 4 月 1 日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の 22 個分団を 13 個分団に再編し、消防団員定数も 503 人から 485 人に改正、業務開始
2007 年 平成 19 年 4 月 12 日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2007 年 平成 19 年 9 月 15 日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において厚狭北分団が優勝
2008 年 平成 20 年 3 月 18 日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011 年 平成 23 年 3 月 14 日	緊急消防援助隊（車両 2 台、5 人）を東日本大震災の被災地へ派遣

(5) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008 年 平成 20 年 5 月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律（平成 18 年法律第 64 号）及び市町村の消防の広域化に関する基本指針（平成 18 年 7 月 12 日消防庁告示第 33 号）を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 2 月 13 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 5 月 20 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 8 月 11 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 10 月 15 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 11 月 15 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011 年 平成 23 年 1 月 4 日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011 年 平成 23 年 2 月 16 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 3 月 29 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 5 月 31 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 6 月 29 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 7 月 20 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 8 月 1 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	第 7 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011 年 平成 23 年 11 月 30 日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成 18 年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で 7 番目、県内では初の取り組み）
2012 年 平成 24 年 2 月 20 日	第 1 回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012 年 平成 24 年 3 月 30 日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012 年 平成 24 年 4 月 1 日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1 本部 4 署 4 出張所 定員 298 人で消防業務を開始
2013 年 平成 25 年 3 月 28 日	山陽小野田市大字厚狭 487 番地 9 へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙行
2014 年 平成 26 年 3 月 2 日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014 年 平成 26 年 8 月 22 日	緊急消防援助隊（延べ 13 隊、52 人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ 9 日間派遣
2015 年 平成 27 年 1 月 28 日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定

4 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17 年 8 月 27 日	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28 年 6 月 25 日 ～6 月 29 日	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所 (山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3 年 9 月 27 日	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11 年 9 月 24 日	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21 年 7 月 21 日 ～7 月 26 日	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの水害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 名
H22 年 7 月 15 日	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの水害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 名(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	宇部市内	B 2 9 爆撃機による空襲 4, 9 5 3 戸全焼 り災世帯 2 3, 4 1 3 世帯 死者 3 3 6 人 負傷者 5 9 1 人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物 7 棟焼損 (1, 4 0 4 m ²) 損害額 2 1, 9 8 9 千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物 4 棟焼損 (5, 6 9 0 m ²) 負傷者 6 人 損害額 7 0, 0 0 0 千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物 1 棟全焼 (2, 5 0 7 m ²) 損害額 2 4, 7 1 7 千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物 1 棟 (5 6 0 m ²) 死者 1 1 人 負傷者 3 8 人 損害額 2 5 0, 0 0 0 千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3 日間延焼 4 6 2 h a 焼失 損害額 3 7, 5 8 2 千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物 4 棟焼損 (9 9 9 m ²) 損害額 2, 7 0 4 千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物 1 2 棟焼損 (1, 7 8 8 m ²) り災世帯 1 9 世帯 負傷者 2 人 損害額 3 0, 5 0 6 千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物 1 8 棟焼損 (2, 6 5 8 m ²) り災世帯 2 6 世帯 負傷者 2 人 損害額 9 3, 4 5 8 千円
H 元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物 1 棟全焼 (4, 0 6 8 m ²) り災世帯 3 世帯 負傷者 3 人 損害額 5 1 0, 7 7 6 千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎 2 棟全焼 (9 1 9 m ²) 損害額 7, 0 4 8 千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物 1 棟全焼 (6 5 9 m ²) 損害額 5, 0 5 0 千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎 1 棟全焼 (3 4 7 m ²) 損害額 1, 7 0 0 千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物 3 棟全焼 (2 9 2 m ²) り災世帯 1 2 世帯 り災人員 4 1 人 損害額 1 6 8, 2 9 8 千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積 2 7 h a 損害額 2 4, 0 0 3 千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火) 建物 1 棟部分焼 損害額 1 7, 1 3 0 千円(原因は落雷) 負傷者 1 人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物 1 棟全焼 (8 6 9 m ²) 損害額 1 3 4, 4 1 0 千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物 1 棟全焼 (6 6 0 m ²) 損害額 1 5 1, 6 7 5 千円

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼（1,486㎡） り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 熔融金属が飛散し出火建物 は爆発により損壊したが、火災による損害はスクラップのみ

（４）旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼（298坪） 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館（200坪）を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校校舎（木造2階建）から出火 校舎半焼（542㎡） 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

（５）山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17. 10. 24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

（６）宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7,440千円 軽症2人
H26. 4. 27	大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 （836㎡） 損害額 7,849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122,409千円

5 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日
1	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定	山口市・宇部市	H24. 3. 28
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1
8	山口県宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス 山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		L P ガス 山口県L P ガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
		山口県L P ガス協会厚狭支部	
10	救急車医師同乗システムに関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
11	気管挿管実習に係る協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
		医療法人社団宇部興産中央病院	
		山口労災病院	

総 務



消防局庁舎

平成24年4月1日から「宇部・山陽小野田消防局」として、宇部市及び山陽小野田市の消防業務の共同処理を開始しました。

庁舎内に高機能指令センターを整備し、平成26年から運用開始しています。

安全衛生委員会 職員研修会

職員研修会は毎年開催され、職員の健康管理に大きな役割を担っています。

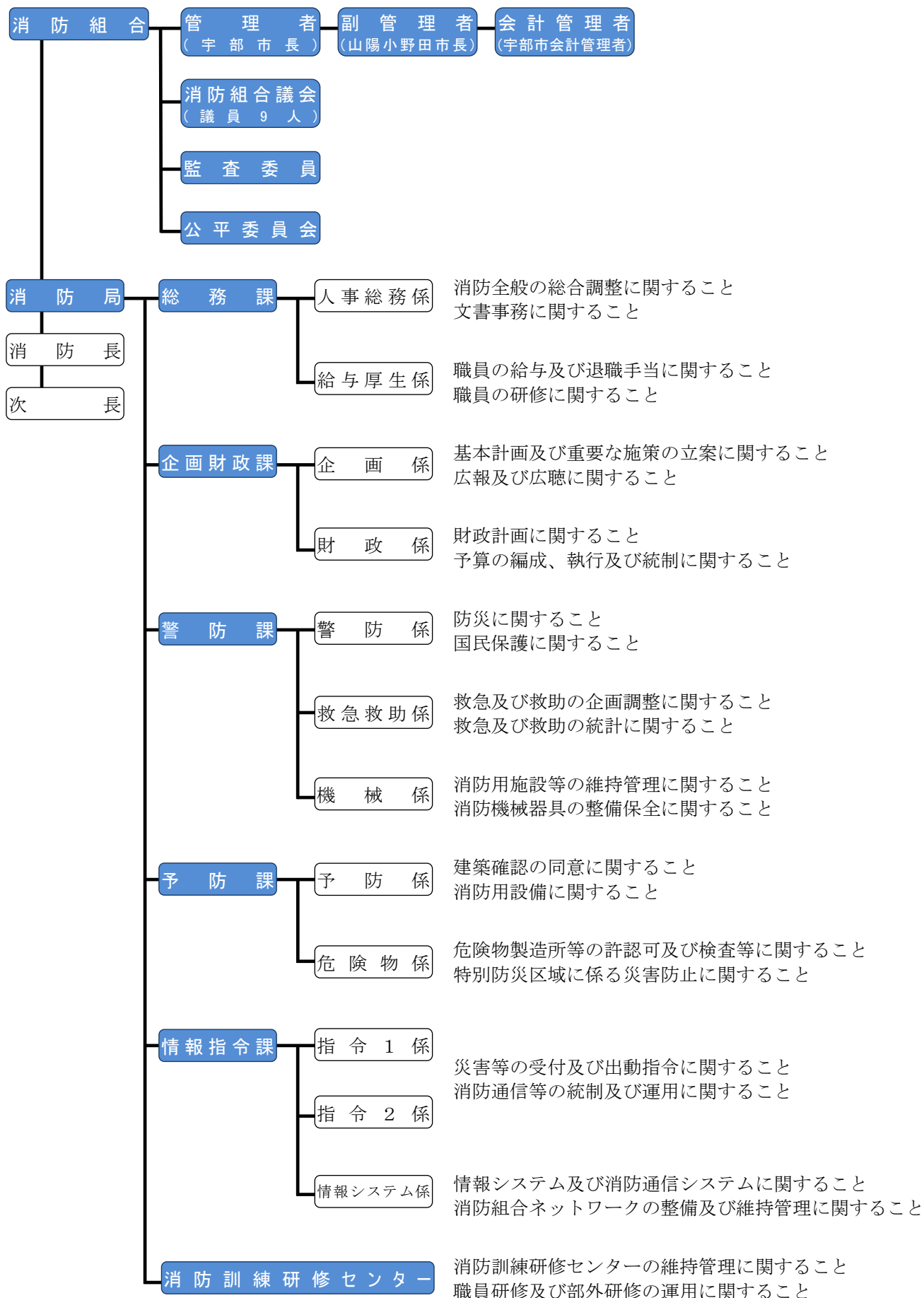
平成26年度は、講師に医師を招き、生活習慣病の予防と治療に関する研修を実施しました。

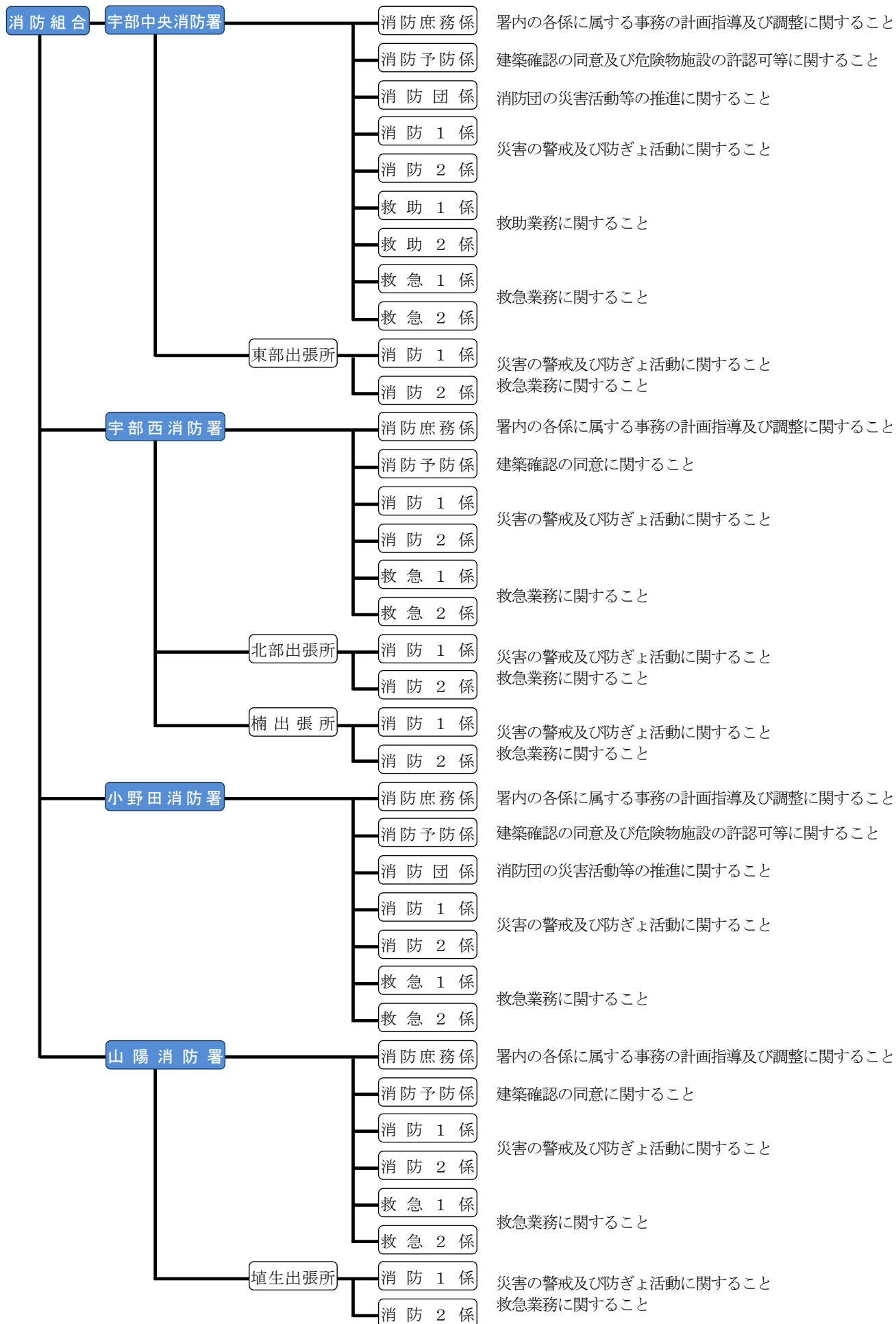


1 年間の主な行事

- 6 月第 2 週……………危険物安全週間
- 8 月 3 0 日 ～ 9 月 5 日……………防災週間
- 9 月 1 日……………防災の日
- 9 月 9 日……………救急の日
- 1 1 月 9 日……………1 1 9 番の日
- 1 1 月 9 日 ～ 1 1 月 1 5 日……………秋季火災予防運動
- 1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 1 日……………防災とボランティア週間
- 1 月 1 7 日……………防災とボランティアの日
- 1 月 2 6 日……………文化財防火デー
- 3 月 1 日 ～ 3 月 7 日……………春季火災予防運動
- 3 月 7 日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務





2 消防局・消防署職員配置表

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
定 員		298									
実 員		297	1	4	10	35	66	103	25	53	
消 防 局	消 防 長	1	1								
	次 長	1		1							
	総 務 課	課 長	1		1						
		課 長 補 佐	1			1					
		人 事 総 務 係	2				1	1			
		給 与 厚 生 係	3				1	2			
		総 務 課 付	18				2	2		14	
	企 画 財 政 課	課 長	1		1						
		課 長 補 佐	1			1					
		企 画 係	1					1			
		財 政 係	2				1	1			
	警 防 課	課 長	1		1						
		課 長 補 佐	1			1					
		警 防 係	2				1	1			
		救 急 救 助 係	2				2				
		機 械 係	1				1				
	予 防 課	課 長	1	1							
		課 長 補 佐	1			1					
		予 防 係	3				1	1	1		
		危 険 物 係	4				2	2			
	情 報 指 令 課	課 長	1		1						
		課 長 補 佐	2			2					
		指 令 1 係	6			1	3	2			
		指 令 2 係	6			1	2	2	1		
		情 報 シ ス テ ム 係	2				1	1			
	訓練研修センター				1※						
	小 計		65	1	2	4	8	18	16	2	14

1※については、構成市からの派遣職員又は兼務職員を示すもので、職員数には算入せず。

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
宇部中央消防署	署 長	1		1							
	副 署 長	1			1						
	副 主 幹	1				1					
	消 防 庶 務 係	2				1		1			
	消 防 予 防 係	3					1	2			
	消 防 団 係	1					1				
	中 央 消 防 署 付	0									
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	12				1	3	3	1	4	
	救 助 1 係	5					1	3	1		
	救 急 1 係	9				1	2	3	1	2	
	消 防 2 係	12				1	4	3		4	
	救 助 2 係	5				1	1	1	1	1	
	救 急 2 係	9					2	5	1	1	
	東 部 出 張 所 長	1				1					
	東 部 消 防 1 係	10					2	7	1		
	東 部 消 防 2 係	10					3	5	1	1	
	小 計	84		1	1	9	20	33	7	13	
宇部西消防署	署 長	1			1						
	副 署 長	1			1						
	消 防 庶 務 係	1						1			
	消 防 予 防 係	2				1	1				
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	9				1	2	4	1	1	
	救 急 1 係	4					2	1		1	
	消 防 2 係	9					3	4	1	1	
	救 急 2 係	4					2	1		1	
	北 部 出 張 所 長	1				1					
	北 部 消 防 1 係	7						5	1	1	
	北 部 消 防 2 係	8				1	1	4	1	1	
	楠 出 張 所 長	1				1					
	楠 消 防 1 係	7					2	2	1	2	
	楠 消 防 2 係	8				1	2	4	1		
	小 計	65			2	8	15	26	6	8	

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
小野田消防署	署 長	1		1							
	副 署 長	1			1						
	消 防 庶 務 係										1※
	消 防 予 防 係	3					1	1	1		
	消 防 団 係	2				1		1			
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	12					2	4	2	4	
	救 急 1 係	5					1	3		1	
	消 防 2 係	12					3	5	2	2	
	救 急 2 係	5				1		3	1		
	小 計	43		1	1	4	7	17	6	7	
山陽消防署	署 長	1			1						
	副 署 長	1			1						
	消 防 庶 務 係	1						1			
	消 防 予 防 係	1						1			
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	7					2	2	1	2	
	救 急 1 係	4					2	1		1	
	消 防 2 係	7				1	1	1	1	3	
	救 急 2 係	4				1		2		1	
	埴 生 出 張 所 長	1				1					
	埴 生 消 防 1 係	5						2	1	2	
	埴 生 消 防 2 係	6				1	1	1	1	2	
	小 計	40			2	6	6	11	4	11	

3 消防職員階級別勤続年数

勤続年数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	計
1年未満								15		15
1								14		14
2								9		9
3							9	9		18
4						1		2		3
5							2	1		3
6						2	2	3		7
7						1	4			5
8						4	3			7
9						5				5
10						2				2
11						9	1			10
12						5	2			7
13						1				1
14						1				1
15						10	1			11
16										
17					2	5				7
18					3	7				10
19					2	5				7
20					7	6				13
21					10	10				20
22				1	6	6				13
23					1	7				8
24				1	6	1				8
25					4	1				5
26					2					2
27			1		4					5
28				1	1					2
29			1	1		1				3
30				1	4					5
31				1	2	1				4
32				2	1	3				6
33			2	7	1	2				12
34	1	1		6	2					10
35		2	1	3	6	5				17
36		1	4	4		1				10
37				4	2					6
38			1	1						2
39				2						2
40						1				1
41							1			1
計	1	4	10	35	66	103	25	53		297
平均	34.0	35.0	33.9	33.6	25.2	18.5	7.7	1.7	0	18.7

4 消防職員階級別年齡

年 齡	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	計
18								1		1
19								5		5
20								4		4
21								2		2
22								8		8
23								10		10
24								13		13
25							6	5		11
26							1	3		4
27						1	2	1		4
28						1	3			4
29						3	3	1		7
30						2	2			4
31						2	3			5
32						6	1			7
33						5	2			7
34						1				1
35						5				5
36						6	1			7
37						4				4
38					1	7				8
39					1	12				13
40					3	7				10
41					2	6				8
42					3	7				10
43					8	5				13
44					7	4				11
45					8	3				11
46				1	4	1				6
47				1	2	1				4
48					4	1				5
49				1	4	1				6
50			1	1	2	1				5
51			1	5	1	1				8
52				3	3					6
53				1	3	5				9
54			2	2	3					7
55			2	6	4					12
56		1	2	2	1	3				9
57		1	1	4	1	1				8
58	1	1	1	4	1					8
59		1		4		1	1			7
計	1	4	10	35	66	103	25	53		297
平均	58.0	57.5	54.6	54.3	47.0	39.9	29.9	22.9		40.1

5 特殊技能・技術資格者

(職員数297人)

資格種別		人数	資格種別	人数	資格種別	人数
自動車免許	普通 1 種	297	水上安全救助員	34	危険物取扱者甲種	5
	普通 2 種	1	水上安全指導員	2	危険物取扱者乙種	64
	中型 1 種	32	潜水士	131	危険物取扱者丙種	30
	中型 2 種	1	小型船舶操縦士	47	映写技術者	33
	大型 1 種	216	第2級陸上特殊無線技士	216	毒劇物取扱者	8
	大型 2 種	1	第3級陸上特殊無線技士	41	消防設備士	19
	大型特殊 1 種	8	アマチュア無線技術者	17	衛生管理者	7
	大型特殊 2 種	2	自動車整備免許 2 級	3	安全衛生推進者	0
	けん引 1 種	4	玉掛技能者	100	電気工事士	7
	けん引 2 種	1	足場組立等作業主任者	18	ボイラー技士	14
	自動 2 輪	118	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	47	移動式クレーン	108
	小型特殊	2	有機溶剤作業主任者	2	予防技術資格者（消防用設備）	21
救急隊員資格	I 課程	38	研削といし	3	予防技術資格者（危険物）	19
	救急科 (II課程及び標準課程含む)	182	ガス溶接講習	70	予防技術資格者（防火査察）	55
	救急救命士	56				

6 消防予算(平成27年度当初予算)

(1) 歳入

(単位：千円)

款	平成27年度予算額	前年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,749,507	2,832,628	△83,121
使用料及び手数料	32,025	28,956	3,069
県支出金	47,639	59,454	△11,815
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	4,773	5,184	△411
組合債	68,200	55,700	12,500
国庫支出金	0	10,714	△10,714
歳入合計	2,903,144	2,993,636	△90,492

(2) 歳出

(単位：千円)

款	平成27年度 予算額	前年度 予算額	比較	平成27年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	327	327	0	0	0	0	327
総務費	12,786	13,332	△546	0	0	642	12,144
消防費	2,870,434	2,968,082	△97,648	47,639	68,200	57,056	2,697,539
公債費	15,597	7,895	7,702	0	0	0	15,597
予備費	4,000	4,000	0	0	0	0	4,000
歳出合計	2,903,144	2,993,636	△90,492	47,639	68,200	57,698	2,729,607

(3) 分担金の内訳

(単位：千円)

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率(%) $B/A \times 100$	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	62,700,000	1,804,034	2.88	1,781,980	22,054
山陽小野田市	24,805,000	920,964	3.71	909,820	11,144
合計	87,505,000	2,724,998	3.11	2,691,800	33,198

(4) 消防費と管内人口・世帯数との割合

消 防 費 予 算	1人当たりの消防費	1世帯当たりの消防費	人 口 ／ 世 帯 数
2,903,144,000 円	12,393 円	27,076 円	234,254 人
			107,222 世帯

(5) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

消防吏員1人に対して			消 防 署 数 に 対 し て			常備消防ポンプ自動車 1 台 に 対 し て			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)
1.4	361.0	788.7	105.2	26,805.5	58,563.5	24.7	6,307.2	13,779.6	38.2	9,747.5	21,295.8
297 人			4 署			17 台			11 台		

7 特殊勤務手当

消 防 業 務 従 事 手 当	1 救急業務に従事した職員		
	(1)救急救命士	1 回	500 円
	(2)機関員	1 回	400 円
	(3) (1) 及び(2) 以外の職員	1 回	300 円
	2 救助業務に従事した職員		
	(1)機関員	1 回	400 円
	(2) (1) 以外の職員	1 回	300 円
	3 火災出動業務に従事した職員		
	(1)機関員	1 回	400 円
	(2) (1) 以外の職員	1 回	300 円
	4 潜水業務に従事した職員	1 回	1,000 円
	5 緊急消防援助隊として従事した職員	1 日	1,680 円
	6 夜間勤務に従事した職員	1 回	410 円

8 消防庁舎

(1) 宇部・山陽小野田消防局（宇部中央消防署）

所在地：宇部市港町二丁目3番30号 敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,720.68 m ²	H元年1月
訓練塔	鉄筋コンクリート造6階建	264.00 m ²	H元年1月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク6kl）	231.00 m ²	H元年1月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H元年1月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目6番1号 敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造2階建	2,397.30 m ²	H11年3月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11年3月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造5階建（補助塔3階）	342.13 m ²	H12年1月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンクSUS製20kl）	58.36 m ²	H12年3月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12年3月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目6番22号 敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	684.57 m ²	S53年4月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53年4月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53年4月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16年3月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭487番地9 敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,290.71 m ²	H25年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造3階建	105.00 m ²	H25年3月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造3階建	90.00 m ²	H25年3月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25年3月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波 7 6 1 番地 1 敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	430.86 m ²	S 55 年 4 月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S 55 年 4 月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬 1 1 0 5 1 番地 敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	520.65 m ²	H7 年 4 月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木 4 6 7 番地 6 敷地面積：1,063.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	250.76 m ²	S 49 年 9 月
救急消毒室棟	鉄骨造平屋建	24.65 m ²	H19 年 8 月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生 3 2 2 9 番地 1 2 敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	153.55 m ²	S 56 年 4 月
車庫棟	鉄筋コンクリート造	90.00 m ²	S 56 年 4 月

予 防



幼年消防クラブ交流会

山陽小野田市内の各保育園、幼稚園が消防訓練研修センターに集い消防車の見学、火遊び防止の説明を受けた後、お遊戯をして各園児との交流を深めました。

防火スケッチ大会

宇部市・山陽小野田市内の園児、小学生が消防車、救急車及びはしご車を思う存分画用紙にスケッチしました。



全 国 統 一 防 火 標 語

(過去 10 年間)

平成 27 年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成 26 年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成 25 年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成 24 年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成 23 年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成 22 年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成 21 年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成 20 年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成 19 年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成 18 年度	消さないで あなたの心の 注意の火。

危険物安全週間（毎年 6 月の第 2 週）推進標語

(過去 10 年間)

平成 27 年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい
平成 26 年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
平成 25 年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成 24 年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害
平成 23 年度	危険物無事故のゴールは譲れない！
平成 22 年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣
平成 21 年度	安全は 意識と知識と 心掛け
平成 20 年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検
平成 19 年度	危険物目指せ無事故の MVP
平成 18 年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

防火対象物用途区分			防火対象物数			立入検査回数
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	7	10	2
	ロ	公会堂・集会場	74	45	119	40
2	イ	キャバレー・カフェー	1		1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	22	6	28	11
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	9		9	9
3	イ	待合・料理店	2	5	7	3
	ロ	飲食店	133	33	166	42
4		百貨店・マーケット	261	100	361	182
5	イ	旅館・ホテル	39	22	61	136
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,104	550	2,654	175
6	イ	病院・診療所等	191	58	249	85
	ロ	老人短期入所施設等	95	29	124	123
	ハ	老人デイサービスセンター等	134	51	185	70
	ニ	幼稚園・特別支援学校	31	8	39	14
7		小中高大学及び各種学校	294	97	391	59
8		図書館・博物館	5	3	8	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	
	ロ	公衆浴場	6	2	8	3
10		駅舎・空港	3	6	9	3
11		神社・寺院・教会	121	70	191	28
12	イ	工場・作業場	1,094	425	1,519	217
	ロ	映画スタジオ	1		1	1
13	イ	自動車車庫	98	42	140	8
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	889	313	1,202	154
15		前各号に該当しない事業所	729	447	1,176	193
16	イ	特定用途を含む複合対象物	380	116	496	154
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	259	97	356	16
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物		1	1	
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			6,985	2,533	9,518	1,730

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	2						
	ロ	公会堂・集会場	27	21	1	2				
2	イ	キャバレー・カフェー								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	5	1	1				
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	3	2						
4		百貨店・マーケット	36	21	6					
5	イ	旅館・ホテル		5	1	1				
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	9	3	1		1	1		
	ロ	老人短期入所施設等	1	1						
	ハ	老人デイサービスセンター等	1							
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3							
7		小中高大学及び各種学校								
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					4	1		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	38	11	6	1	6	1	1	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					9	6		
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
18		延長50m以上のアーケード								
19		市町村長の指定する山林								
20		総務省令で定める舟車								
合 計			128	71	16	5	20	9	1	0

2 建築確認同意処理件数

防火対象物別			宇 部 市				山陽小野田市				総 計
			新 築	増 築	その他	合計	新 築	増 築	その他	合計	
1	イ	劇場・映画館					1			1	1
	ロ	公会堂・集会場	2			2	1			1	3
2	イ	キャバレー・カフェー									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗施設等									
	ニ	カラオケボックス等			2	2					2
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店	2			2					2
4		百貨店・マーケット	17			17	8		1	9	26
5	イ	旅館・ホテル									
	ロ	寄宿舎・共同住宅	23	1	3	27	3			3	30
6	イ	病院・診療所等	5			5	1		1	2	7
	ロ	老人短期入所施設等	16	3		19	5	1		6	25
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	1	1	3	2		1	3	6
	ニ	幼稚園・特別支援学校									
7		小中高大学及び各種学校	5	1		6	1	1		2	8
8		図書館・博物館									
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ	公衆浴場									
10		駅舎・空港									
11		神社・寺院・教会	5			5		1		1	6
12	イ	工場・作業場	13	2	1	16	6	2		8	24
	ロ	映画スタジオ									
13	イ	自動車車庫	4	1		5	1			1	6
	ロ	飛行機等の格納庫									
14		倉庫	23		2	25	10	1		11	36
15		前各号に該当しない事業所	36	2	1	39	10	1	1	12	51
16	イ	特定用途を含む複合対象物	3		4	7		1	1	2	9
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	3	1		4					4
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財保護法にいう建物									
18		延長50m以上のアーケード									
19		市町村長の指定する山林									
20		総務省令で定める舟車									
住 宅			55		1	56	28		1	29	85
危 険 物 施 設			3			3	1			1	4
そ の 他			3			3	4		6	10	13
合 計			219	12	15	246	82	8	12	102	348

3 防火管理者選任状況

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合 計	宇部市	山陽小野田市	合 計
1	イ	劇場・映画館	1	7	8	1	7	8
	ロ	公会堂・集会場	73	19	92	58	19	77
2	イ	キャバレー・カフェー	1		1	1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	6	20	13	6	19
	ハ	性風俗施設等			0			0
	ニ	カラオケボックス等	10		10	9		9
3	イ	待合・料理店		4	4		4	4
	ロ	飲食店	131	28	159	103	27	130
4		百貨店・マーケット	181	71	252	142	70	212
5	イ	旅館・ホテル	22	17	39	22	17	39
	ロ	寄宿舍・共同住宅	133	61	194	72	58	130
6	イ	病院・診療所等	45	23	68	39	23	62
	ロ	老人短期入所施設等	58	25	83	49	24	73
	ハ	老人デイサービスセンター等	54	34	88	47	34	81
	ニ	幼稚園・特別支援学校	22	7	29	22	7	29
7		小中高大学及び各種学校	21	27	48	19	27	46
8		図書館・博物館	3	3	6	3	3	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			0			0
	ロ	公衆浴場	2	1	3	1	1	2
10		駅舎・空港		1	1		1	1
11		神社・寺院・教会	73	32	105	64	32	96
12	イ	工場・作業場	12	33	45	9	33	42
	ロ	映画スタジオ			0			0
13	イ	自動車車庫	3		3	3		3
	ロ	飛行機等の格納庫			0			0
14		倉庫	4	3	7	3	3	6
15		前各号に該当しない事業所	88	50	138	79	50	129
16	イ	特定用途を含む複合対象物	222	52	274	200	52	252
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	188	5	193	174	5	179
16の2		地下街			0			0
16の3		準地下街			0			0
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
18		延長50m以上のアーケード			0			0
19		市長村長の指定する山林			0			0
20		総務省令で定める舟車			0			0
合 計			1,361	510	1,871	1,133	504	1,637

4 危険物施設設置状況

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		29	37	66
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	101	96	197
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	230	299	529
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	7		7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	72	36	108
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	103	74	177
	屋 外 貯 蔵 所	16	23	39
取 扱 所	給 油 取 扱 所	78	39	117
	第 1 種 販 売 取 扱 所	4		4
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1		1
	一 般 取 扱 所	203	114	317
	移 送 取 扱 所	2	3	5
構 成 市 別 合 計		846	721	1,567

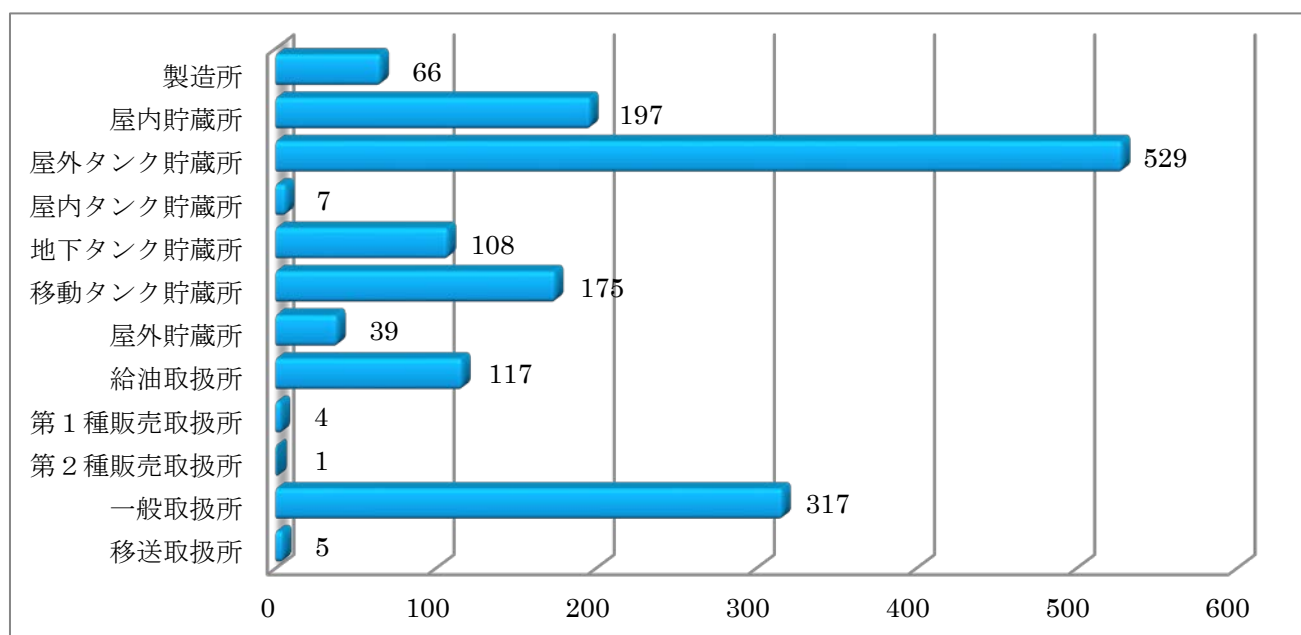
5 危険物許認可状況

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所		1	72	61	1	66	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3	4	3	4	5	4
	屋外タンク貯蔵所		51	28	1	37	5
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所	1	2	1	1	2	3
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	6	16		6	15	7
	屋 外 貯 蔵 所	1				1	
小 計		11	73	32	12	60	19
取 扱 所	給 油 取 扱 所		13	11		11	2
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	一 般 取 扱 所	1	128	113	2	117	9
	移 送 取 扱 所		2	2		2	
小 計		1	143	126	2	130	11
合 計		13	288	219	15	256	31

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	64
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	2
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		14
水 張 水 圧 検 査 （ 条 例 ）		

6 危険物施設の現況及び立入検査状況

区 分		類別								立 入 検 査 数
		1類	2類	3類	4類	5類	6類	混類	計	
製 造 所		2	2		30		1	31	66	83
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	2	6	147	5	1	25	197	172
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		504	2	17		529	198
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				7				7	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				108				108	38
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								0	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				163		14		177	173
	屋 外 貯 蔵 所		1		38				39	11
取 扱 所	給 油 取 扱 所				117				117	111
	第 1 種 販 売 取 扱 所				4				4	
	第 2 種 販 売 取 扱 所				1				1	
	一 般 取 扱 所	1	3	1	289		5	18	317	215
	移 送 取 扱 所				4		1		5	4
合 計		14	14	7	1,412	7	39	74	1,567	1,005



7 宇部・小野田地区特別防災区域

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、ユーエムジー・エービーエス(株)宇部工場敷地から、西側は、厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は 6,659,769 m²で、その状況は別図のとおりである。

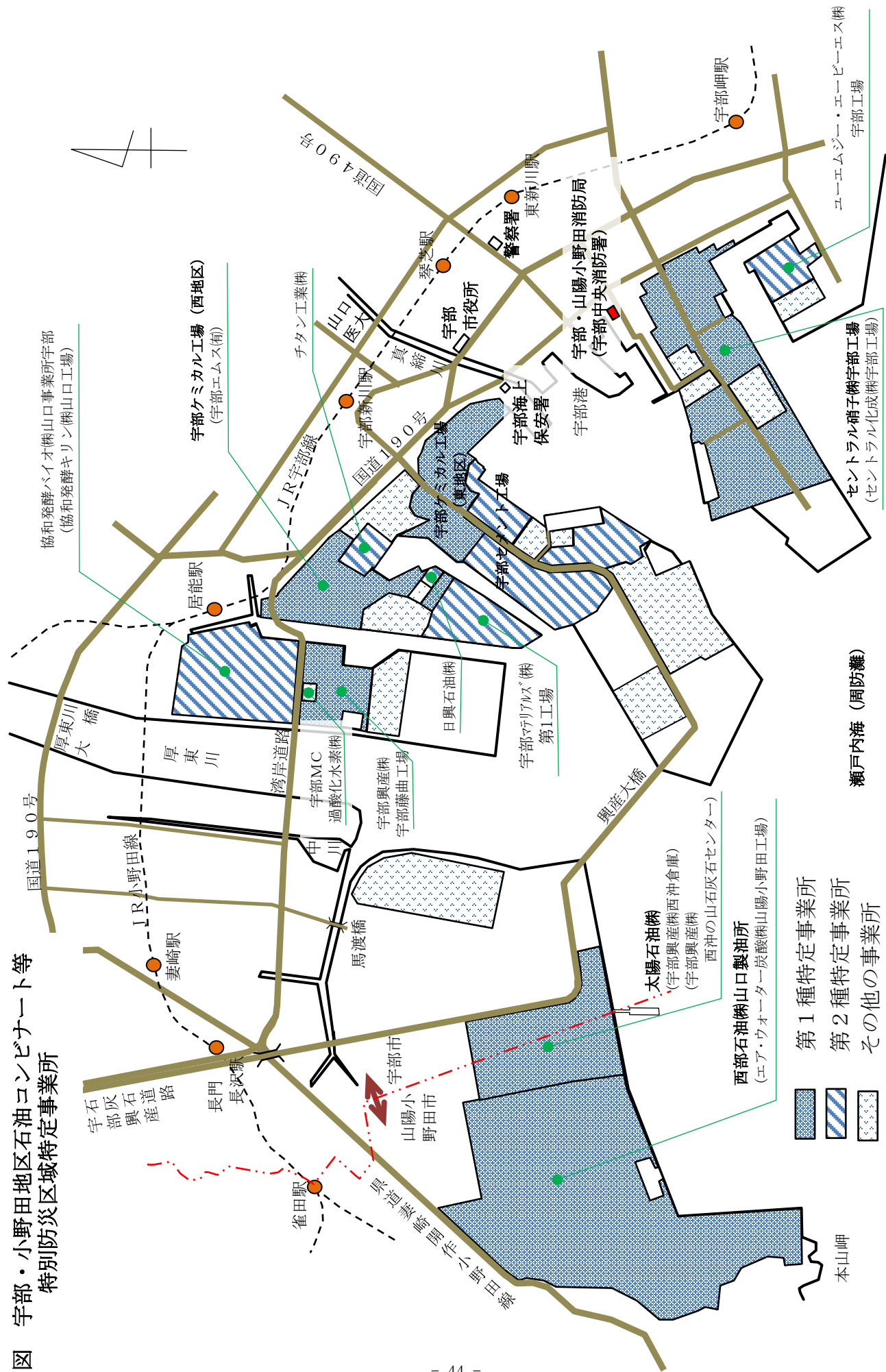
区 域 の 名 称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市 名	宇部市			
市 の 面 積	287.71 km ²			
市 の 人 口	169,821 人 (世帯数：78,622 世帯)			
様 態	化学工場、油槽所、火力発電、その他			
地 区	面 積 m ²	種別及び事業所名		
		第 1 種事業所	第 2 種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,153,795	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇ユーエムジー・エービーエス(株)宇部工場	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)宇部デリバリー ◇セントラル硝子(株) 化学研究所 (宇部) ◇宇部市上下水道局 東部浄化センター ◇宇部市市民環境部 環境保全センター ◇セントラルエンジニアリング(株)
大字小串字沖ノ山	2,422,225	◇宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 (宇部エムス(有))	◇宇部興産(株) 宇部セメント工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場 第1工場	◇宇部興産(株)建設資材カンパニー技術開発研究所 ◇宇部興産(株)研究開発本部 有機化学研究所 ◇(株)宇部スチール ◇宇部興産機械(株) ◇明和化成(株) ◇エムシー・ファーターイコム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場 第2工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇宇部興産(株) 宇部藤曲工場	◇協和発酵バイオ(株) 山口事業所宇部 (協和発酵キリン(株) 宇部工場) ◇宇部MC過酸化水素(株) 宇部工場	
大字西沖ノ山 字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター) (宇部興産(株)西沖倉庫)		◇宇部興産(株) 特大車西沖給油所
合計	6,659,769	4	7	14

(2) 山陽小野田市

宇部・小野田地区における山陽小野田市に係る部分は山陽小野田市南東端に位置し、本山岬の東岸沿いの丘状地と海面を埋立てた干拓地からなる。東側は宇部市との境界上に位置する、太陽石油(株)山口事業所から西側は、西部石油(株)山口製油所の本山岬丘状地頂上までとなり、北側は県道妻崎開作小野田線に接し、南側は防潮堤を境に瀬戸内海（宇部港）に面している。総面積は 2,613,745 m²でその状況は別図のとおりである。

区 域 の 名 称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市 名	山陽小野田市			
市 の 面 積	132.99 km ²			
市 の 人 口	64,433 人 （世帯数：28,600 世帯）			
様 態	石油精製、石油化学			
地 区	面 積 m²	種別及び事業所名		
		第 1 種事業所	第 2 種事業所	その他の事業所
大字西沖字西沖 〃 字西沖の 2 〃 字西沖の 3 大字小野田 〃 字一の北山 〃 字二の北山 〃 字東一の大泊 〃 字東二の大泊 〃 字東田の尻 〃 字東高尾 〃 字焼山 〃 字向ヶ原 〃 字松山 〃 字泉ヶ浴 〃 字狐崎 〃 字高尾 〃 字西高尾 〃 字石干見 〃 字一の石干見 〃 字繁開作 〃 字長沢二宮開作 〃 字赤崎 〃 字北山	1,928,321 685,424	西部石油㈱山口製油所 (エア・ウォーター炭酸㈱ 山陽小野田工場) 〔 太陽石油㈱ 山口事業所 宇部興産㈱西沖の山 石灰石センター 宇部興産㈱西沖倉庫 〕		
合計	2,613,745	1		

別図 宇部・小野田地区石油コンビナート等
特別防災区域特定事業所



8 火薬類取締法関係処理状況

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市				3	3		
山陽小野田市				1	3		
合 計	0	0	0	4	6	0	0

※事務移譲後件数（事務移譲：平成27年1月1日）

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

ウ 会 員

598事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

区分	クラブ名称	結成年月	人員
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	257
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	235
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	173
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	101
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和 60 年 4 月	0
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 2 月	183
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月	45
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 3 月	401
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 9 月	70
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和 58 年 9 月	139
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 6 月	118
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 7 月	156
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 8 月	101
	西福寺保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 10 月	62
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 8 月	119
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 10 月	151
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成 8 年 9 月	130
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和 55 年 4 月	43
	恩田地区少年消防クラブ	昭和 55 年 5 月	14
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	501
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	8
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	18
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和 45 年 3 月	355
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和 46 年 3 月	113
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和 47 年 6 月	47
婦人防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和 55 年 6 月	30
	埴生漁協婦人防火クラブ	昭和 58 年 8 月	22
総 計	27 団体		3,592

警 防



警防技術練成会

退職を迎える消防職員から知識・技術の伝承を行い、円滑な世代交代を行うとともに、消防職員の技術の向上を目的とし練成会を実施しました。

大規模災害時（地震）対応訓練

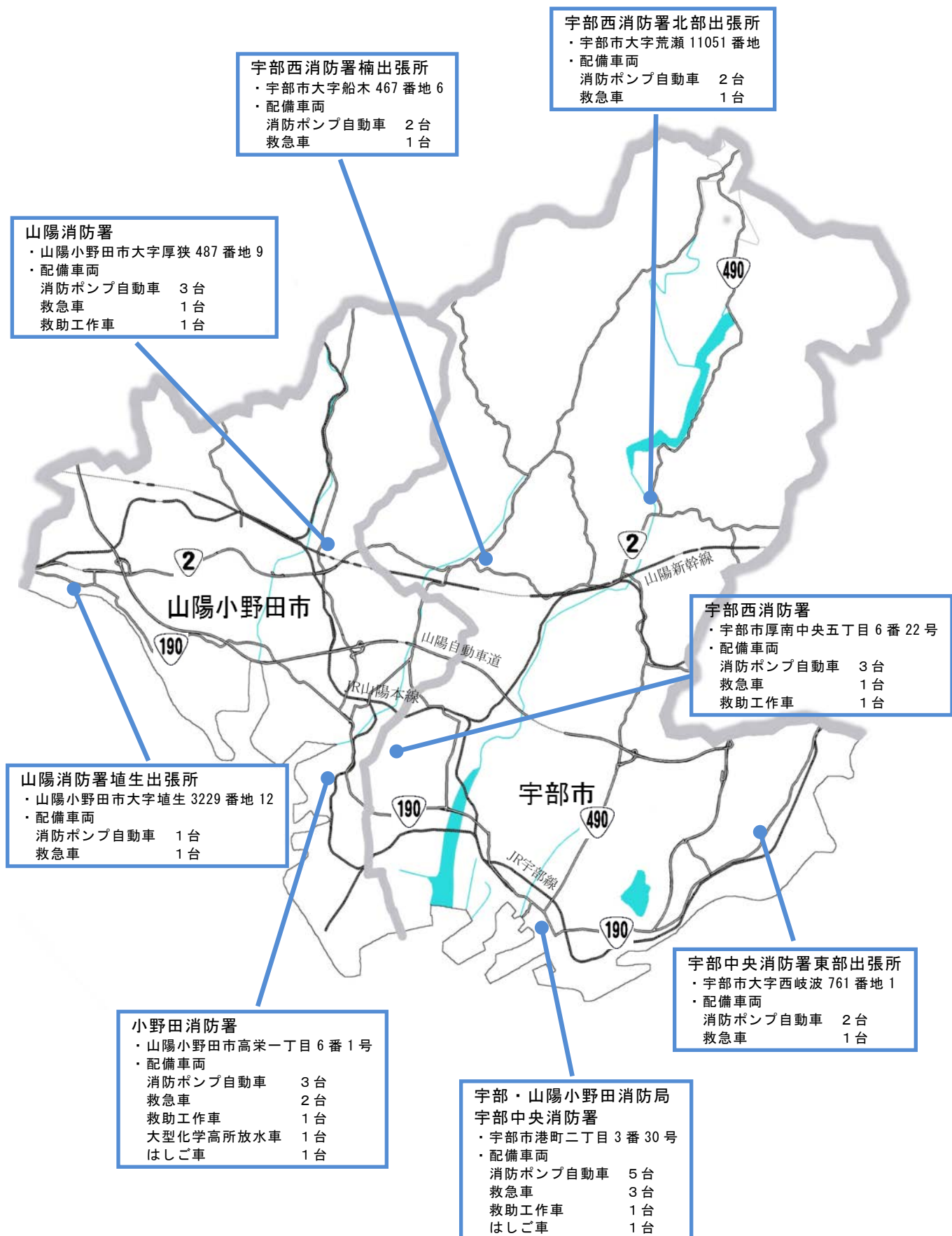
大規模災害時における消防体制の早期確立を図ることを目的として、防災とボランティア週間にあわせ、「南海トラフ巨大地震」が発生したことを想定した初動対応訓練を実施しました。



緊急消防援助隊

		部隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	指揮隊	2	
	消火小隊	2 5	5
	救助小隊	7	2
	救急小隊	1 6	2
	後方支援小隊	1 1	1
	航空小隊	1	
	特殊災害小隊	2	
	特殊装備小隊	6	
合計		7 0	1 0

1 消防配置図



2 消防車両

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	広 報 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	支 援 車	ト ヨ タ	H8 年 12 月	
	本部 4	水 防 指 揮 車	日 産	H14 年 3 月	
	本部 5	連 絡 車	ダイハツ	H9 年 5 月	
	本部 6	連 絡 車	ダイハツ	H9 年 10 月	
	本部 7	支 援 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 8	支 援 車	ダイハツ	H9 年 10 月	
	本部 9	広 報 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	現 場 指 揮 車	い す ゞ	H13 年 3 月	
	中央はしご 1	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野	H22 年 11 月	
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H26 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H7 年 12 月	A-1
	中央資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H12 年 2 月	
	中央資材 2	資 材 運 搬 車	三 菱	H12 年 2 月	2.2t クレーン付
	中央大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H10 年 12 月	A-1
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H13 年 12 月	
	中央充填 1	空 気 充 填 車	日 野	H15 年 2 月	
	中央救急 1	高 規 格 救 急 車	三 菱	H18 年 3 月	
	中央救急 2	高 規 格 救 急 車	日 産	H21 年 10 月	
	中央救急 3	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	中央 1	連 絡 車	ダイハツ	H12 年 2 月	
	中央 2	広 報 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月	
宇部中央消防署 東部出張所	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H14 年 12 月	A-2
	東ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H9 年 2 月	A-2
	東救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H24 年 2 月	
	東 1	連 絡 車	ス バ ル	H14 年 3 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
宇部西消防署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H7 年 3 月	A-2
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A-2
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	西救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 11 月	
	西救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H19 年 3 月	
	西 1	資 機 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H1 年 12 月	
	西 2	連 絡 車	ス バ ル	H14 年 3 月	
北部出張所 宇部西消防署	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A-2
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H7 年 3 月	A-2
	北救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	北 1	連 絡 車	ダイハツ	H12 年 2 月	
楠出張所 宇部西消防署	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A-2
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A-2
	楠救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	
	楠 1	連 絡 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮 1	指 揮 車	マ ツ ダ	H13 年 1 月	
	小野田はしご 1	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野	H14 年 2 月	
	小野田タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	小野田タンク 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H13 年 3 月	A-2
	小野田ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H13 年 3 月	A-2
	小野田水槽 1	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	H10 年 3 月	B-2 (小型動力ポンプ)
	小野田資材 1	防 災 車	ト ヨ タ	H13 年 1 月	2.93 t クレーン付
	小野田大化高 1	大型化学高所放水車	日 野	H26 年 3 月	A-1
	小野田原液 1	原 液 搬 送 車	日 野	H17 年 2 月	ギャ式ロータリー ポンプ
	小野田救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 3 月	
	小野田救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	小野田救急 2	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H17 年 3 月	
	小野田 1	広 報 車	ト ヨ タ	H20 年 12 月	
	小野田 2	支 援 車	ト ヨ タ	H15 年 3 月	
	小野田 4	査 察 車	日 産	H9 年 10 月	
	小野田 5	査察車 (消火通報訓練指導車)	マ ツ ダ	H16 年 8 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H13 年 2 月	A-2
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H11 年 12 月	A-2
	山陽資材 1	資 材 運 搬 車	日 野	H10 年 3 月	
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1
	山陽救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H22 年 3 月	
	山陽救急 1	高 規 格 救 急 車	日 産	H22 年 3 月	
	山陽 1	広 報 車	ト ヨ タ	H15 年 2 月	
山陽消防署 埴生出張所	埴生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H16 年 1 月	A-2
	埴生救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H19 年 3 月	
	埴生 1	支 援 車	三 菱	H7 年 6 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
公設私設別		
公 設	1,921	1,322
私 設	241	67
合 計	2,162	1,389

単位：基

(2) 防火水槽

市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
容量別	公 設	私 設	公 設	私 設
2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未満	8 (0)	3 (0)	12 (0)	4 (0)
4 0 m ³ 以上 6 0 m ³ 未満	101 (15)	38 (9)	145 (0)	21 (1)
6 0 m ³ 以上 1 0 0 m ³ 未満	12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
1 0 0 m ³ 以上	5 (4)	2 (0)	11 (10)	0 (0)
合 計	126 (29)	47 (9)	168 (10)	26 (1)

単位：基 () 耐震性貯水槽

(3) その他

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
種別		
プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等	96	90

単位：箇所

4 化学消火剤備蓄状況

備蓄場所 種類	消防組合保有		防災協会保有		合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄	
たん白系3%型		21,240	2,400	13,600	37,240
合成界面活性系	2,080		9,440	8,400	19,920
水成膜3%型	600		8,600		9,200
水溶性液体用 (耐アルコール型)		80			80
合 計	2,680	21,320	20,440	22,000	66,440

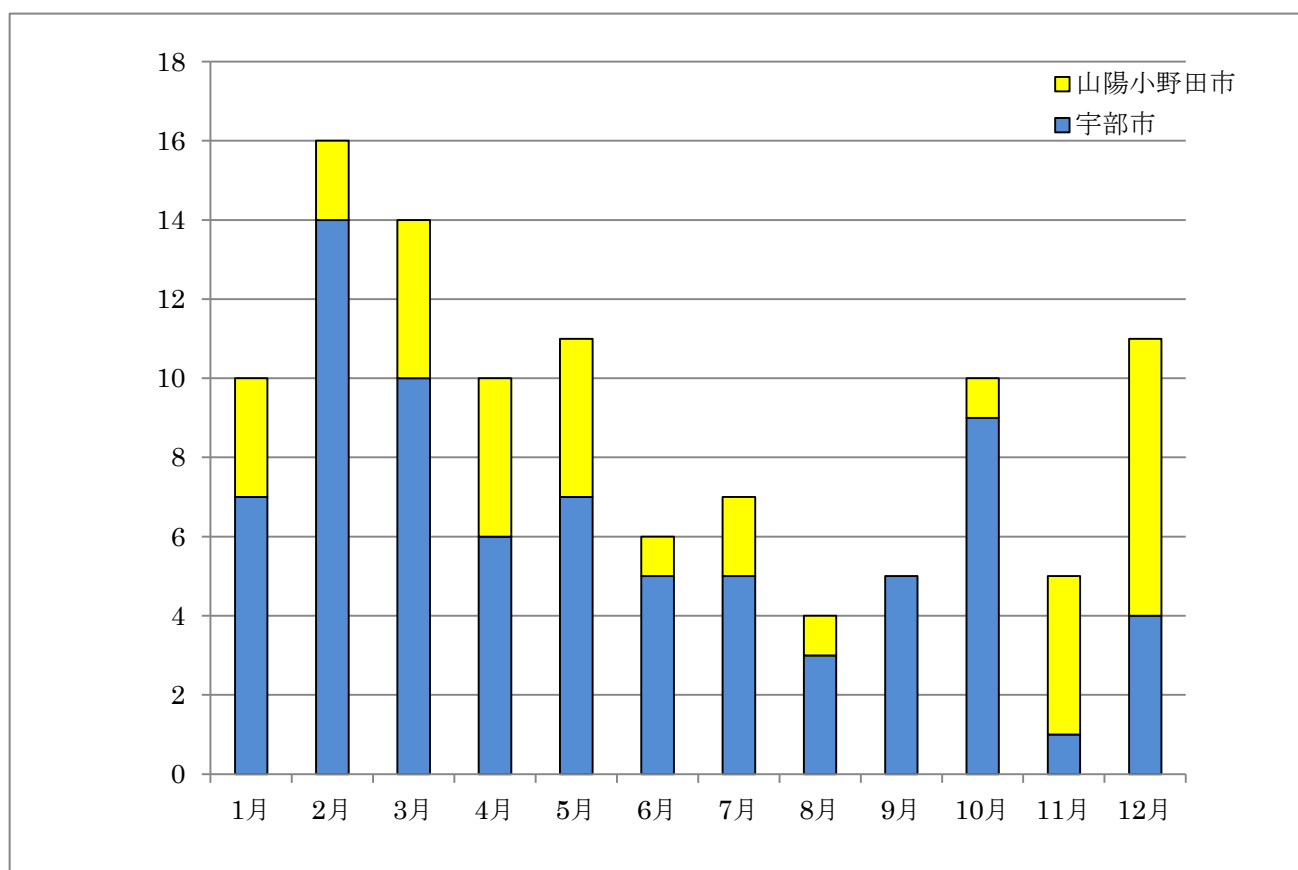
単位：リットル

5 火災

(1) 月別火災発生状況

市別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
宇 部 市	7	14	10	6	7	5	5	3	5	9	1	4	76
山陽小野田市	3	2	4	4	4	1	2	1	0	1	4	7	33
合 計	10	16	14	10	11	6	7	4	5	10	5	11	109

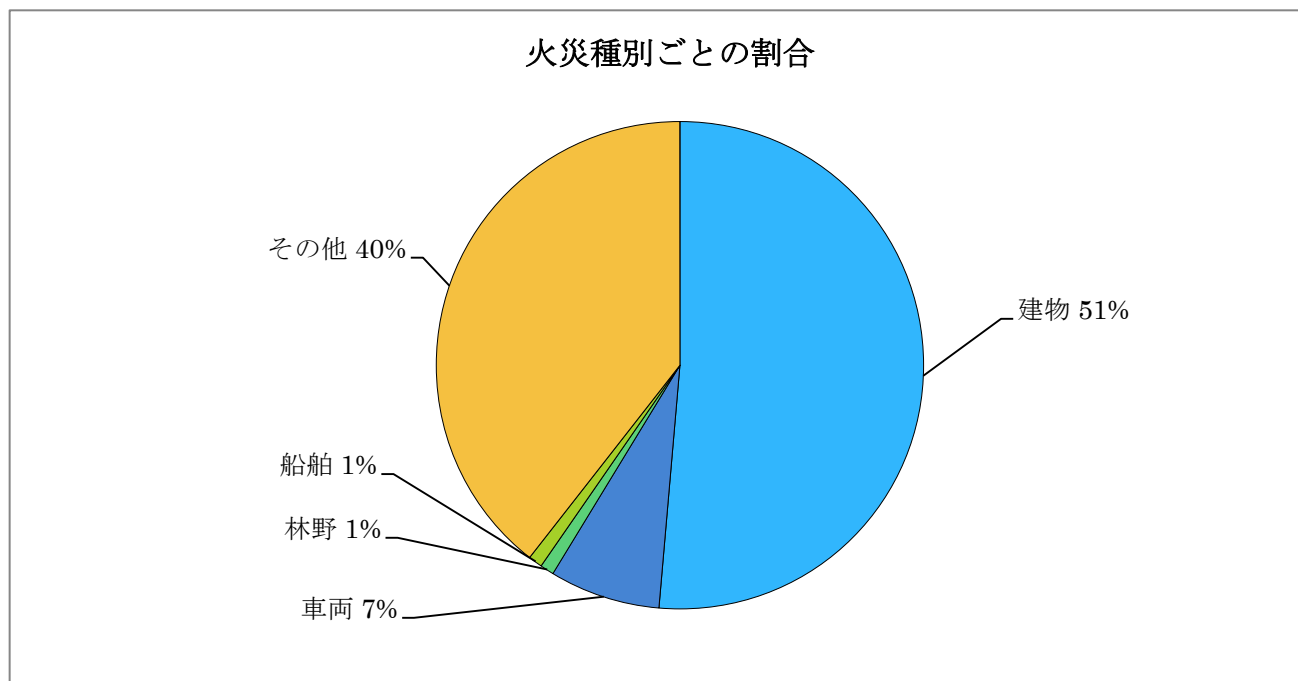
単位：件



(2) 火災種別ごとの件数

種別 市別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	34	7	1		1	33	76
山陽小野田市	22	1				10	33
合 計	56	8	1		1	43	109

単位：件



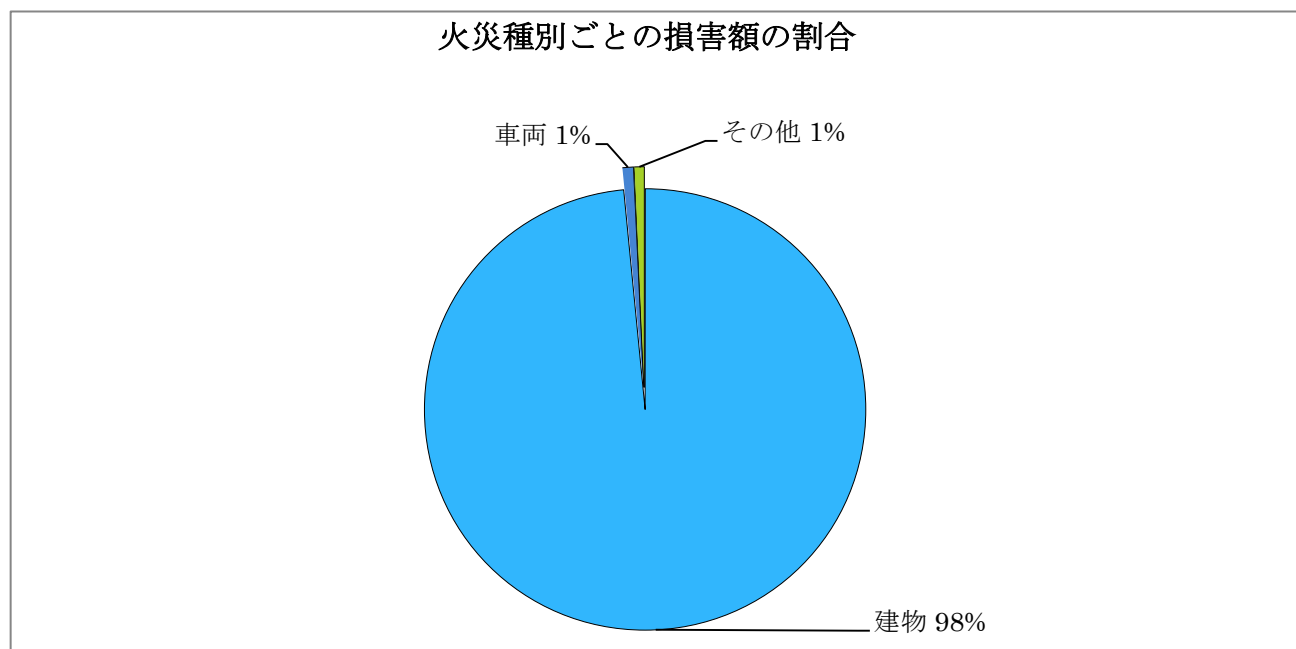
(3) 火災種別ごとの焼損面積

種別 市別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	1,707 m ²		71.0a			8,302 m ²	10,009 m ² 71.0a
山陽小野田市	2,663 m ²					4,637 m ²	7,300 m ²
合 計	4,370 m ²		71.0a			12,939 m ²	17,309 m ² 71.0a

(4) 火災種別ごとの損害額

種別 市別		建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	建 物	35,241	2,236			96	1,720	86,125
	収容物等	46,832						
山陽小野田市	建 物	155,245	29				292	196,669
	収容物等	41,103						
合 計	建 物	190,486	2,265			96	2,012	282,794
	収容物等	87,935						

単位：千円



(5) 火災種別ごとの死者及び負傷者

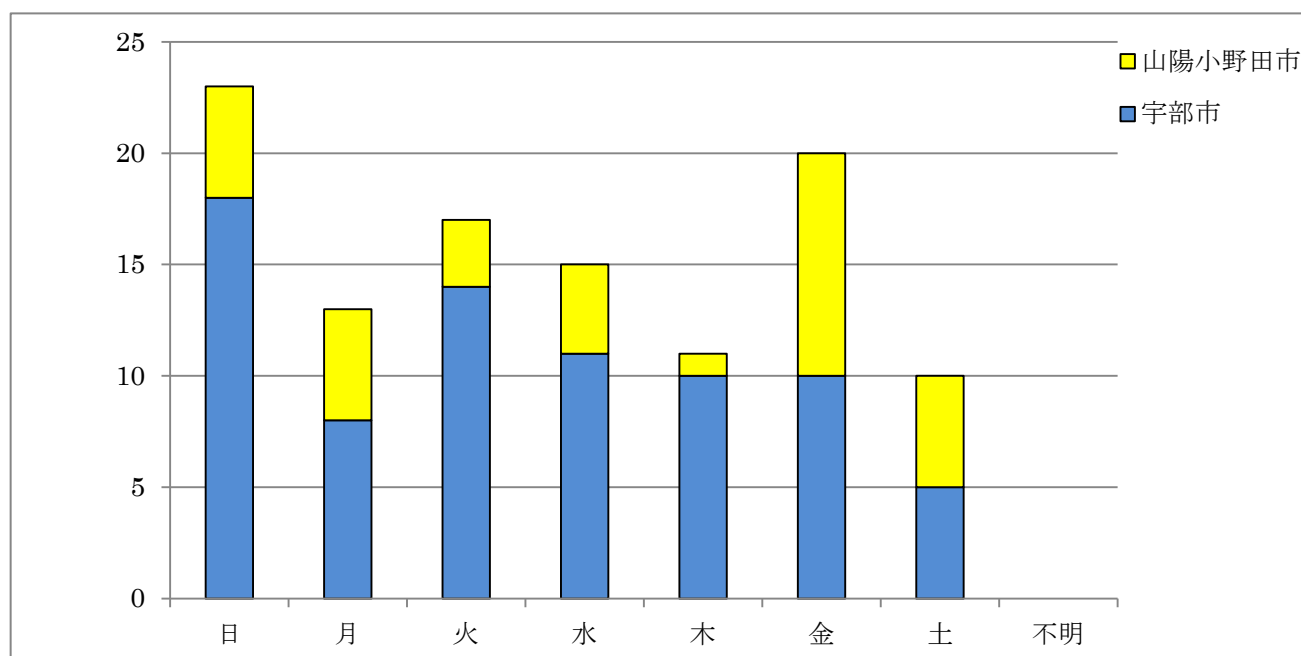
種別 市別		建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	死 者							
	負傷者	10					2	12
山陽小野田市	死 者	2						2
	負傷者	8						8
合 計	死 者	2						2
	負傷者	18					2	20

単位：人

(6) 曜日別火災発生状況

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
日	2	3	4	3	2	2		1	1	2		3	23
月		1	2	1	3	2		1	1	1		1	13
火	4	5	1				2		1	2	1	1	17
水		3	1	2	2		2	1	1	1	1	1	15
木	1	2	1	3	1		1		1		1		11
金	2	2		1	2	1	2	1		2	2	5	20
土	1		5		1	1				2			10
不 明													0
合 計	10	16	14	10	11	6	7	4	5	10	5	11	109

単位：件

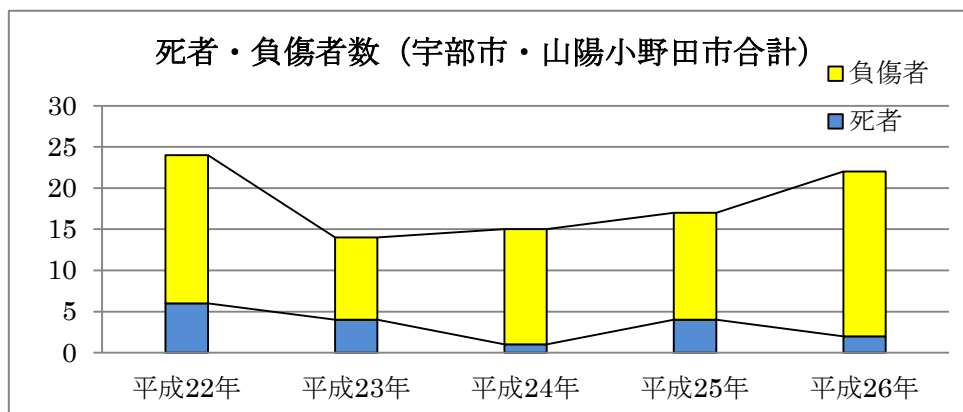
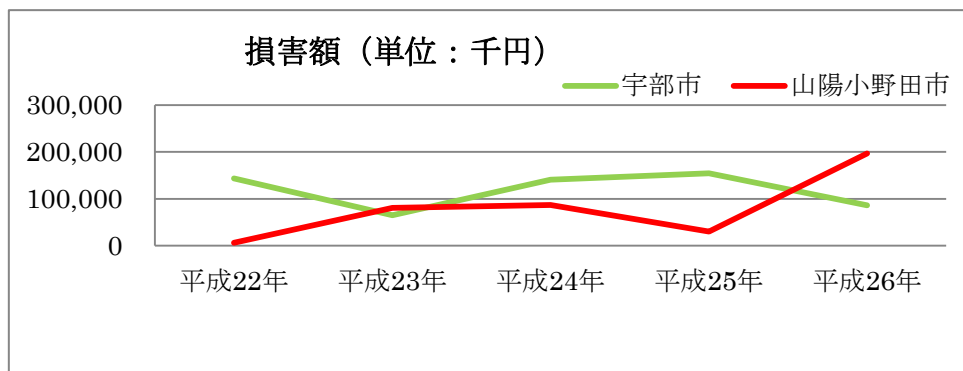
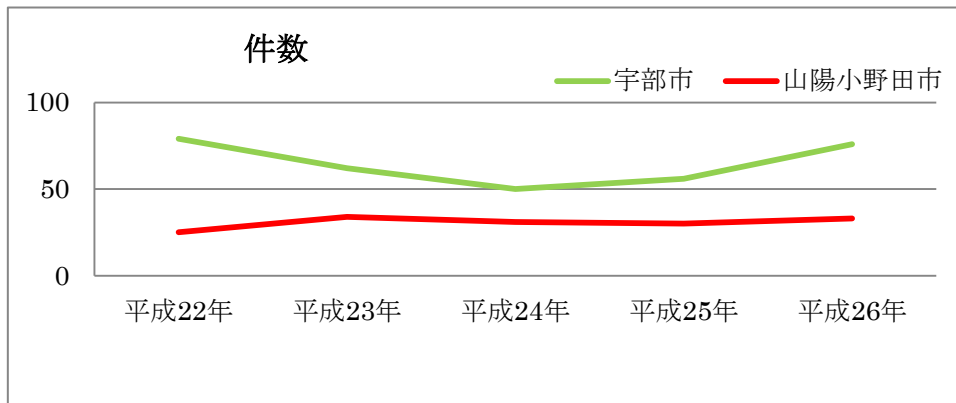


(7) 時間帯別火災発生状況

時間帯 \ 件数・死傷者数	件数(件)	死傷者(人)	
		死 者	負傷者
0～1時	4		
1～2時	1		
2～3時	1		2
3～4時			
4～5時	1		
5～6時	1		
6～7時	4		1
7～8時	2		1
8～9時	3		
9～10時	7		2
10～11時	6		2
11～12時	5		
12～13時	6		2
13～14時	7		
14～15時	17		1
15～16時	3		1
16～17時	10		1
17～18時	6		
18～19時	3		
19～20時	8	2	3
20～21時	2		2
21～22時	3		
22～23時	2		
23～24時	7		2
不 明			
合 計	109	2	20

(8) 過去5年間の火災発生状況

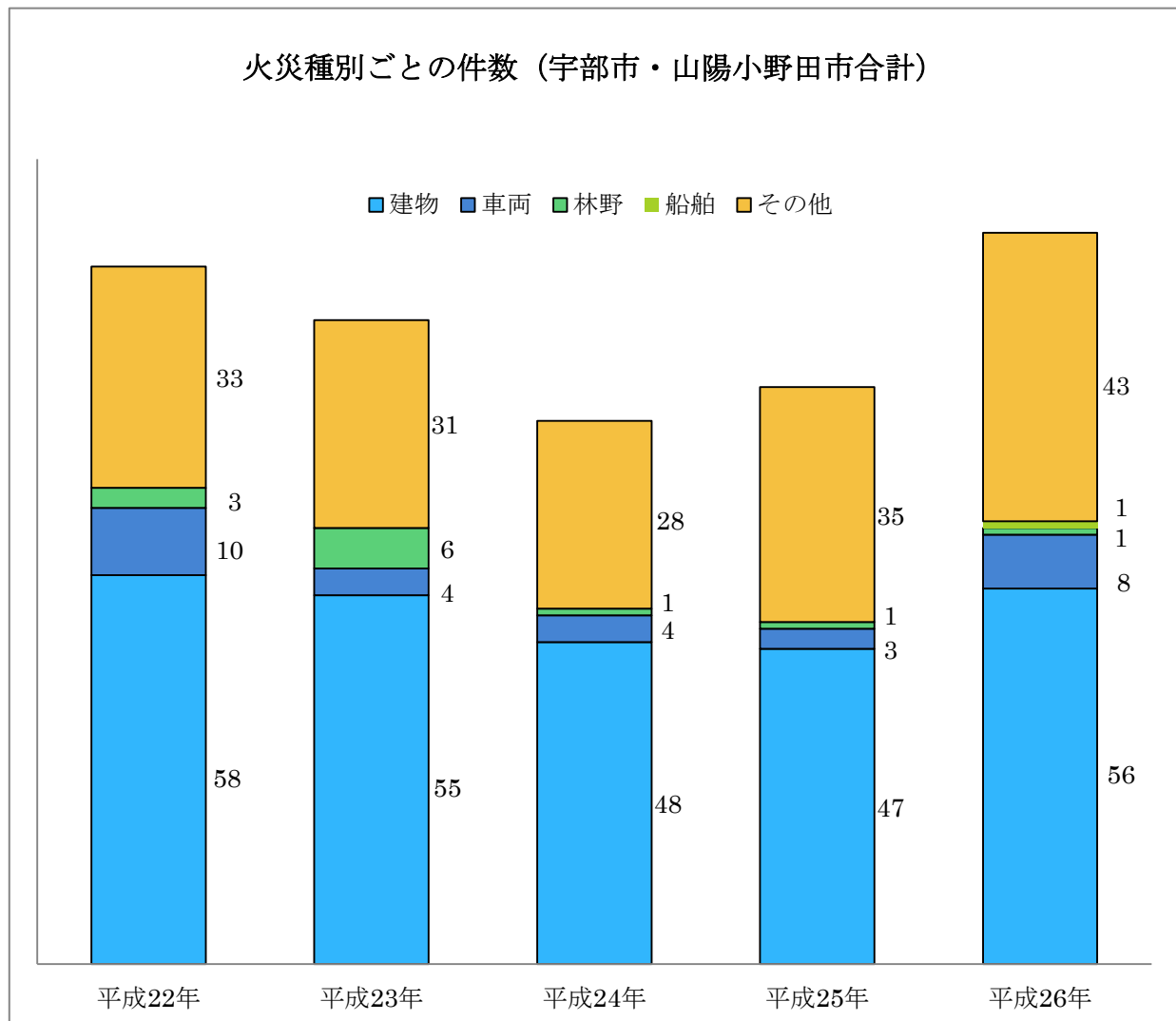
項目 年別	件数(件)		損害額(千円)		死傷者(人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市		山陽小野田市	
					死 者	負傷者	死 者	負傷者
平成22年	79	25	143,397	6,617	5	16	1	2
平成23年	62	34	65,354	81,113	1	5	3	5
平成24年	50	31	140,613	86,665	1	10		4
平成25年	56	30	154,324	30,471	3	9	1	4
平成26年	76	33	86,125	196,669		12	2	8



(9) 過去5年間の火災種別件数

種別 年別		建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
平 成 22年	宇 部 市	48	5	2			24	79	104
	山陽小野田市	10	5	1			9	25	
平 成 23年	宇 部 市	38	2	6			16	62	96
	山陽小野田市	17	2				15	34	
平 成 24年	宇 部 市	34	3	1			12	50	81
	山陽小野田市	14	1				16	31	
平 成 25年	宇 部 市	31	1	1			23	56	86
	山陽小野田市	16	2				12	30	
平 成 26年	宇 部 市	34	7	1		1	33	76	109
	山陽小野田市	22	1				10	33	

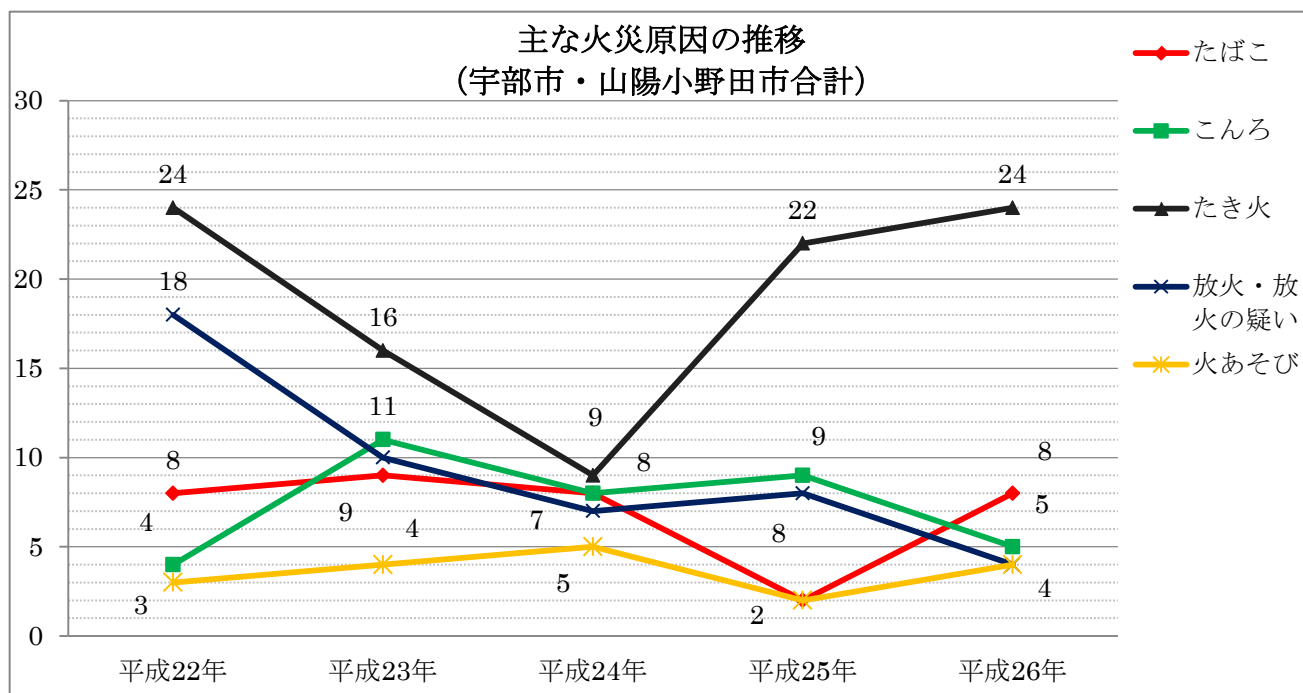
単位：件



(10) 過去5年間の火災原因別件数

年別 原因別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
たばこ	8	9	8	2	8
こんろ	4	11	8	9	5
風呂かまど	1	1	1		1
ストーブ	3	2	3	2	9
ボイラー					
電気機器	3	1	1	1	3
電灯等の配線	1	1	1	1	1
配線器具	3	1	1	2	1
火あそび	3	4	5	2	4
ライター等	3	1	4	1	3
たき火	24	16	9	22	24
溶接機・切断機	1	2	1		1
灯火	1	4	3	2	1
放火	4	6	1	3	2
放火の疑い	14	4	6	5	2
その他	18	21	14	17	32
不明・調査中	13	12	15	17	12
合計	104	96	81	86	109

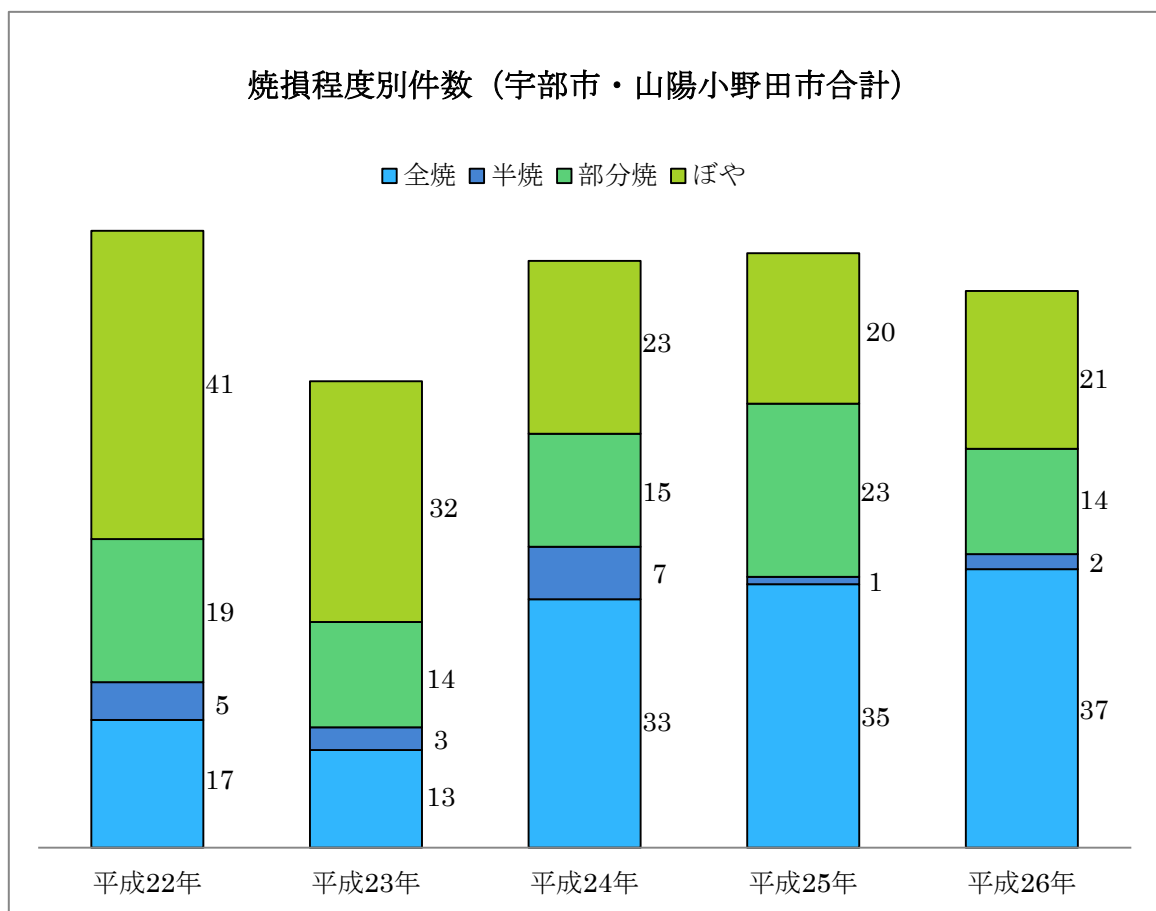
単位：件



(11) 過去5年間の焼損程度別件数

年別		焼損別				計	合 計
		全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
平 成 22年	宇 部 市	14	5	18	30	67	82
	山陽小野田市	3		1	11	15	
平 成 23年	宇 部 市	6	2	8	22	38	62
	山陽小野田市	7	1	6	10	24	
平 成 24年	宇 部 市	20	6	12	15	53	78
	山陽小野田市	13	1	3	8	25	
平 成 25年	宇 部 市	21	1	19	15	56	79
	山陽小野田市	14		4	5	23	
平 成 26年	宇 部 市	22	1	11	13	47	74
	山陽小野田市	15	1	3	8	27	

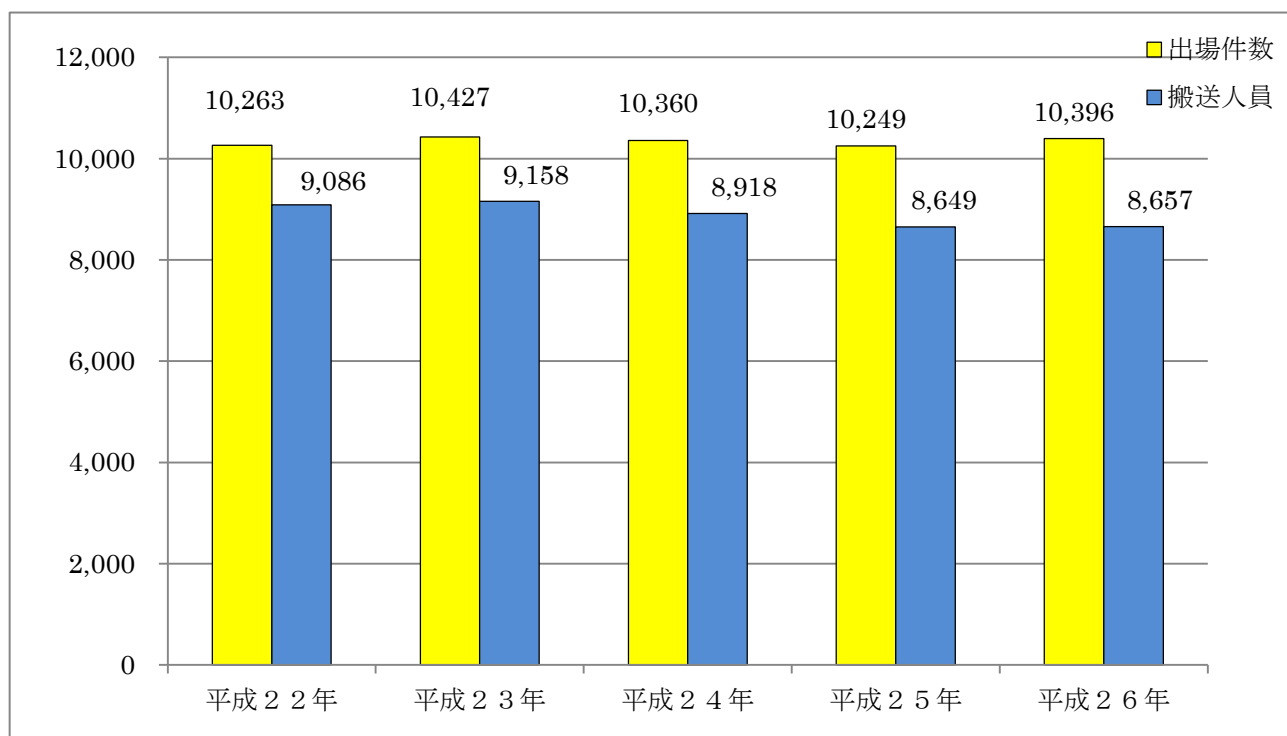
単位：件



6 救急

(1) 過去5年間の救急状況

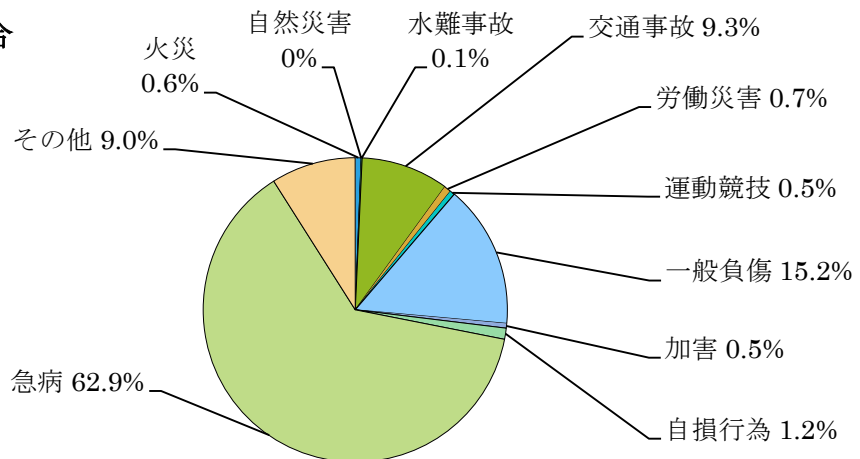
区分 年別		出場件数	搬送人員	1日平均 出場件数	1日平均 搬送人員
平成22年	宇 部 市	7,257	6,314	19.9	17.3
	山陽小野田市	3,006	2,772	8.2	7.6
	合 計	10,263	9,086	28.1	24.9
平成23年	宇 部 市	7,256	6,273	19.9	17.2
	山陽小野田市	3,171	2,885	8.7	7.9
	合 計	10,427	9,158	28.6	25.1
平成24年	宇 部 市	7,194	6,083	19.7	16.6
	山陽小野田市	3,166	2,835	8.6	7.7
	合 計	10,360	8,918	28.3	24.3
平成25年	宇 部 市	7,269	6,009	19.9	16.5
	山陽小野田市	2,980	2,640	8.2	7.2
	合 計	10,249	8,649	28.1	23.7
平成26年	宇 部 市	7,328	5,897	20.1	16.2
	山陽小野田市	3,068	2,760	8.4	7.6
	合 計	10,396	8,657	28.5	23.7



(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

市別		宇 部 市	山陽小野田市	合 計
事故種別				
火 災	出場件数	41	21	62
	搬送人員	8	8	16
自然災害	出場件数		1	1
	搬送人員		1	1
水難事故	出場件数	9	1	10
	搬送人員	4	1	5
交通事故	出場件数	714	223	937
	搬送人員	595	202	797
労働災害	出場件数	48	27	75
	搬送人員	45	26	71
運動競技	出場件数	33	19	52
	搬送人員	33	19	52
一般負傷	出場件数	1,094	435	1,529
	搬送人員	905	404	1,309
加 害	出場件数	35	15	50
	搬送人員	16	11	27
自損行為	出場件数	83	36	119
	搬送人員	44	26	70
急 病	出場件数	4,461	1,883	6,344
	搬送人員	3,688	1,714	5,402
そ の 他	出場件数	810	407	1,217
	搬送人員	559	348	907
合 計	出場件数	7,328	3,068	10,396
	搬送人員	5,897	2,760	8,657

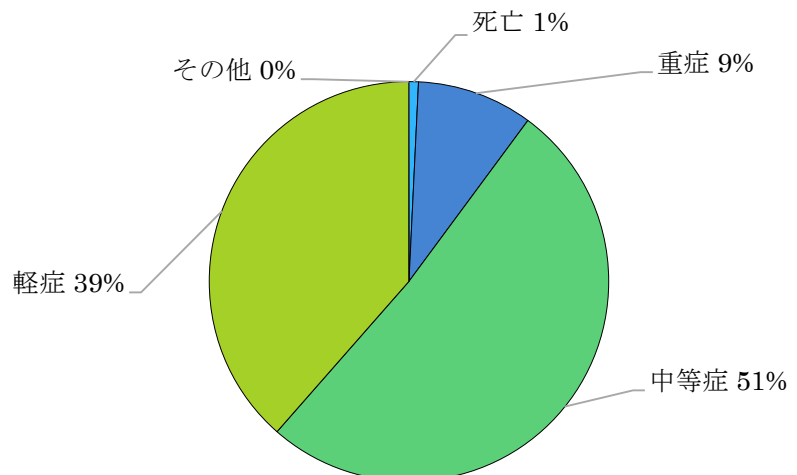
事故種別ごとの件数割合



(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

傷病程度 事故種別		死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
火 災	宇 部 市			4	4		8
	山陽小野田市			3	5		8
自然災害	宇 部 市						
	山陽小野田市				1		1
水難事故	宇 部 市		2		2		4
	山陽小野田市			1			1
交通事故	宇 部 市	2	23	141	429		595
	山陽小野田市	2	6	53	141		202
労働災害	宇 部 市		10	19	16		45
	山陽小野田市		3	16	7		26
運動競技	宇 部 市		2	9	22		33
	山陽小野田市			8	11		19
一般負傷	宇 部 市	7	139	396	363		905
	山陽小野田市	1	19	219	165		404
加 害	宇 部 市			2	14		16
	山陽小野田市		1	1	9		11
自損行為	宇 部 市		11	29	4		44
	山陽小野田市	3	6	9	8		26
急 病	宇 部 市	26	287	1,886	1,489		3,688
	山陽小野田市	25	119	963	607		1,714
そ の 他	宇 部 市		132	402	22	3	559
	山陽小野田市		51	284	12	1	348
合 計	宇 部 市	35	606	2,888	2,365	3	5,897
	山陽小野田市	31	205	1,557	966	1	2,760
	合 計	66	811	4,445	3,331	4	8,657

傷病程度別搬送人員割合



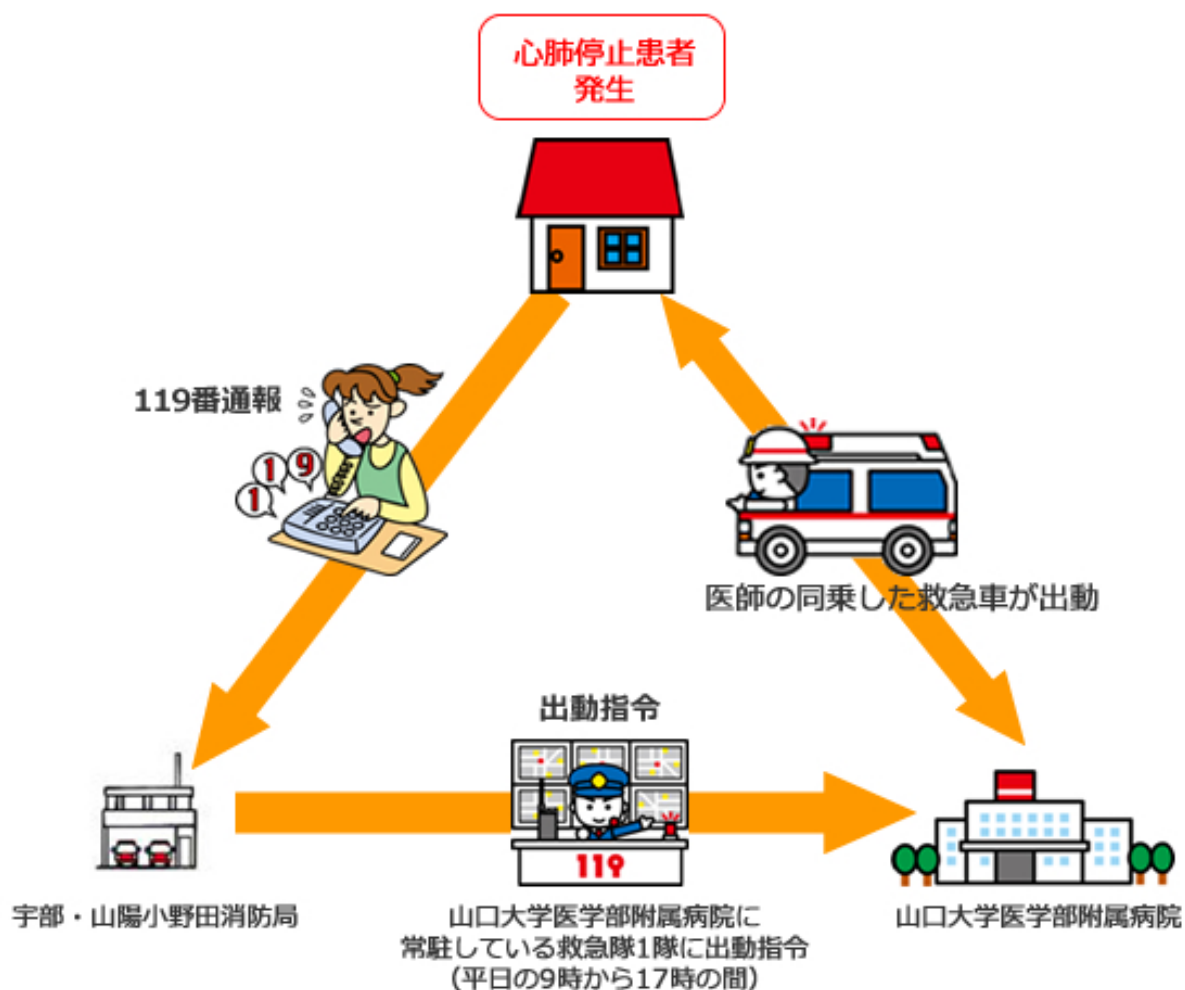
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び搬送人員

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	医師 搬送
出場件数	127				14	6		5		7	18		77
搬送人員	50				14	6		5		7	18		

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

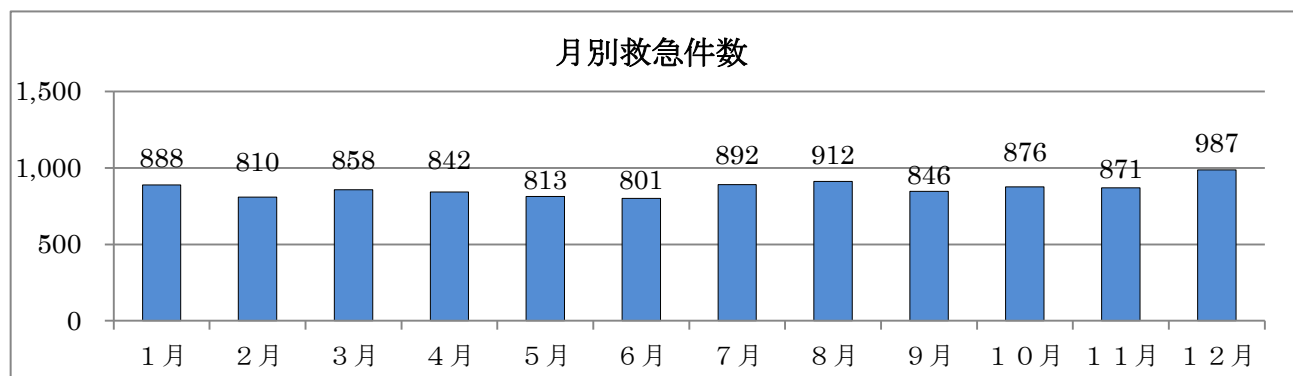
システム概要

救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



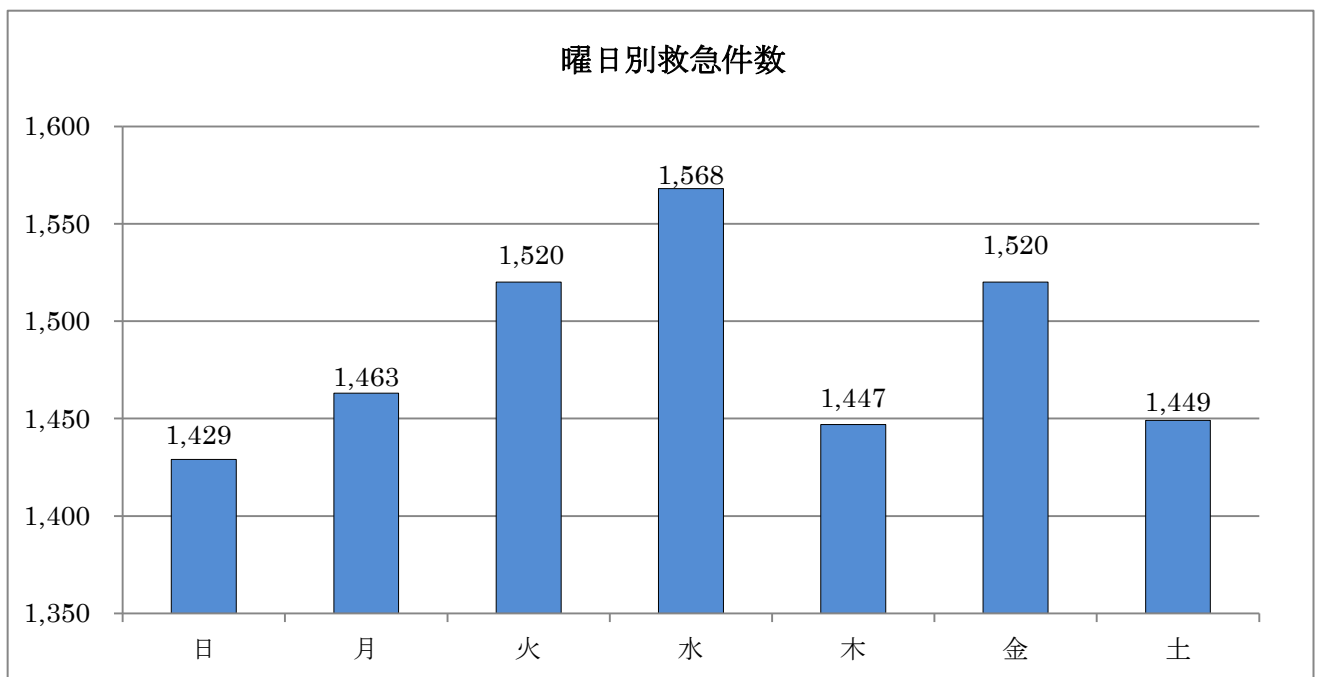
(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

事故種別 月別		計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	件数	888	8		2	69	6	2	123	3	6	561	108
	人員	738	3			54	5	2	102	1	4	485	82
2月	件数	810	8			65	6	4	113	5	10	506	93
	人員	678	3			61	6	4	96	2	7	427	72
3月	件数	858	8			78	6	1	125	1	5	530	104
	人員	718	3			75	6	1	104	1	2	449	77
4月	件数	842	4		1	74	9	7	122	2	7	506	110
	人員	711			1	65	9	7	101	2	3	435	88
5月	件数	813	4			84	8	5	124	5	15	478	90
	人員	689				73	8	5	105	3	7	419	69
6月	件数	801	3			82	3	1	114	7	8	496	87
	人員	678				75	3	1	100	5	2	423	69
7月	件数	892	4		2	76	8	6	109	3	7	567	110
	人員	743			1	62	6	6	93		3	491	81
8月	件数	912	3		1	81	10	4	121	4	16	571	101
	人員	793	2		1	64	10	4	110	3	11	512	76
9月	件数	846	2		3	90	6	6	135	8	14	481	101
	人員	695			1	73	5	6	121	3	11	403	72
10月	件数	876	6	1		83	4	6	162	2	9	497	106
	人員	707	1	1		64	4	5	134	1	4	407	86
11月	件数	871	3		1	80	6	9	142	5	15	525	85
	人員	723			1	71	6	10	130	3	10	437	55
12月	件数	987	9			75	3	1	139	5	7	626	122
	人員	784	4			60	3	1	113	3	6	514	80
合計	件数	10,396	62	1	10	937	75	52	1,529	50	119	6,344	1,217
	人員	8,657	16	1	5	797	71	52	1,309	27	70	5,402	907



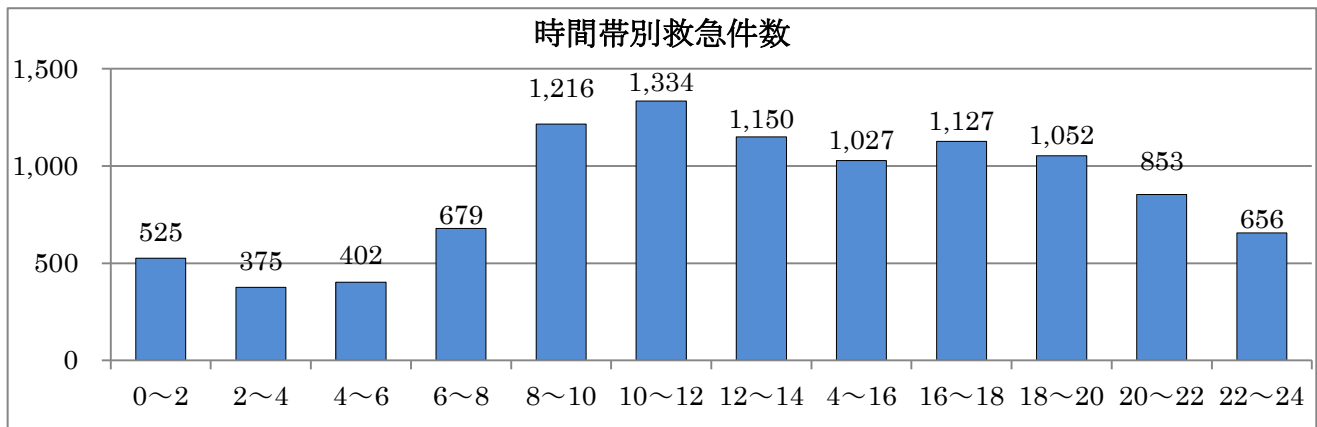
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

事故種別 曜日別		計	火 災	自然 災害	水 難 事故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数	1,429	11		3	90	3	12	263	11	13	924	99
	人員	1,181	4		2	79	3	12	221	6	5	780	69
月	件数	1,463	3	1		143	11	8	207	5	14	883	188
	人員	1,240		1		132	10	8	180	2	7	760	140
火	件数	1,520	12		1	137	15	5	219	4	18	912	197
	人員	1,263			1	106	14	5	184	3	12	788	150
水	件数	1,568	9		3	166	14	2	210	8	12	940	204
	人員	1,281	3		1	135	13	2	184	3	6	790	144
木	件数	1,447	6		3	114	12	8	180	6	31	906	181
	人員	1,174			1	100	11	8	150	3	19	753	129
金	件数	1,520	16			142	12	4	206	12	17	896	215
	人員	1,306	6			129	12	4	185	8	11	786	165
土	件数	1,449	5			145	8	13	244	4	14	883	133
	人員	1,212	3			116	8	13	205	2	10	745	110
合計	件数	10,396	62	1	10	937	75	52	1,529	50	119	6,344	1,217
	人員	8,657	16	1	5	797	71	52	1,309	27	70	5,402	907



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

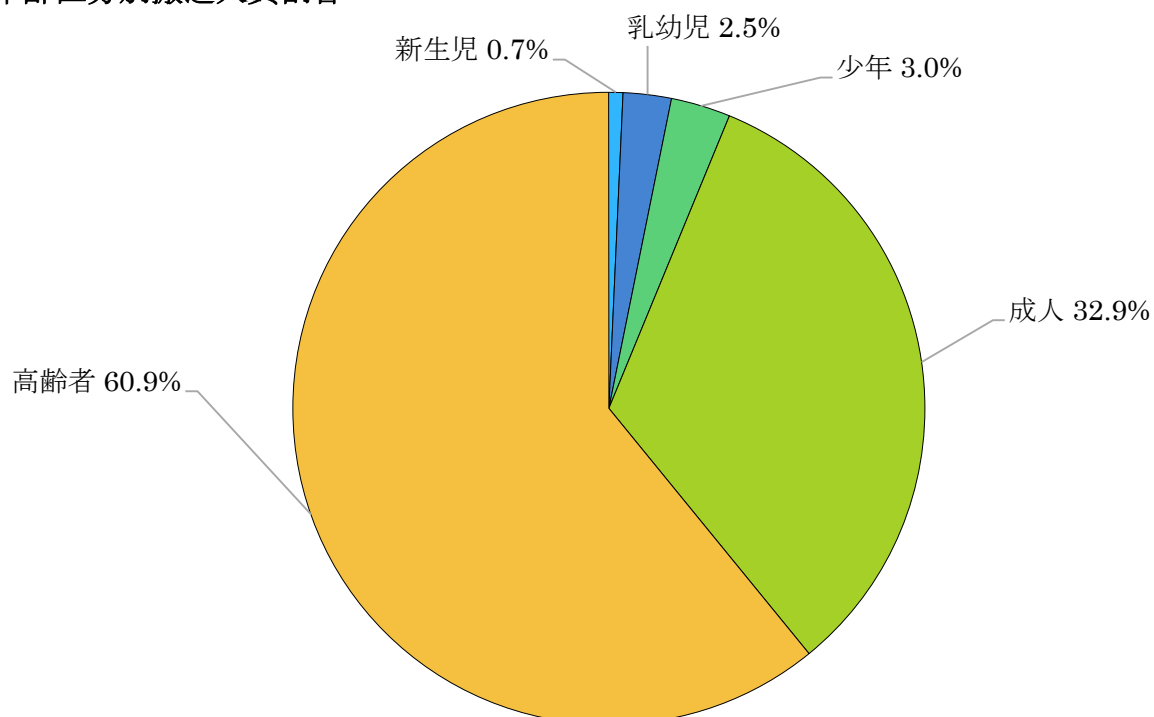
事故種別 時間帯別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0～ 2	件数	525	3			16	4		62	9	8	385	38
	人員	396				13	4		49	5	6	304	15
2～ 4	件数	375	1			9	1	1	43	10	5	275	30
	人員	291	2			9	1	1	35	6	4	219	14
4～ 6	件数	402	1			20	2		51	2	5	306	15
	人員	341				18	2		42	2	2	263	12
6～ 8	件数	679	1		3	68	5	1	102	1	8	469	21
	人員	558	1		2	57	5	1	88		4	388	12
8～ 10	件数	1,216	8		1	102	14	5	195		13	737	141
	人員	1,064	3			86	13	5	187		5	663	102
10～ 12	件数	1,334	5		1	96	10	17	198	4	18	719	266
	人員	1,150	2		1	82	10	17	178	2	11	632	215
12～ 14	件数	1,150	6			118	6	12	162	2	13	607	224
	人員	956	1			107	5	12	131	2	10	523	165
14～ 16	件数	1,027	6	1	2	115	12	11	164	4	10	551	151
	人員	847	1	1	1	93	11	11	144	3	5	470	107
16～ 18	件数	1,127	11		1	163	15	2	194	2	12	567	160
	人員	961				141	14	3	173		5	493	132
18～ 20	件数	1,052	10		1	131	4	2	137	6	10	676	75
	人員	861	3			109	4	1	105	4	6	565	64
20～ 22	件数	853	5			60	2	1	130	4	8	581	62
	人員	702	2			49	2	1	108	1	5	490	44
22～ 24	件数	656	5		1	39			91	6	9	471	34
	人員	530	1		1	33			69	2	7	392	25
合計	件数	10,396	62	1	10	937	75	52	1,529	50	119	6,344	1,217
	人員	8,657	16	1	5	797	71	52	1,309	27	70	5,402	907



(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新生児 (生後28日未満)	62							1				61
乳幼児 (7歳未満)	213			1	13			48			133	18
少年 (7歳～17歳)	263				72		31	43	3	2	95	17
成人 (18歳～64歳)	2,848	8	1	3	524	59	18	243	19	54	1,647	272
高齢者 (65歳以上)	5,271	8		1	188	12	3	974	5	14	3,527	539
合計	8,657	16	1	5	797	71	52	1,309	27	70	5,402	907
高齢者 割合(%)	61	50	0	20	24	17	6	74	19	20	65	59

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	6	6		3	3	2	9	9	2
	建物以外									
交 通 事 故		60	26	32	19	3	3	79	29	35
水 難 事 故		11	8	5	1	1	1	12	9	6
風 水 害 自 然 災 害										
機 械 による事 故		1	1	1	2	1	1	3	2	2
建 物 等 による事 故		6	4	4	8	4	3	14	8	7
ガ ス ・ 酸 欠 事 故		2	1	1	2	2	3	4	3	4
破 裂 事 故					1			1		
そ の 他 事 故		11	5	5	7	6	9	18	11	14
合 計		97	51	48	43	20	22	140	71	70

8 火災以外の出動

月別 出動種別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
風水害等の災害	回数										1			1
	人員										7			7
火災 原因調査	回数	11	21	16	10	12	7	7	7	5	12	4	14	126
	人員	70	125	68	57	56	25	45	20	24	51	22	90	653
特 別 警 戒	回数													
	人員													
捜 索	回数							1						1
	人員							3						3
誤 報 等	回数	1	2	2	2	2	1		1	1	1		3	16
	人員	9	22	8	21	27	3		20	3	18		6	137
救 急 補 助	回数	102	84	91	92	98	91	91	93	106	96	119	124	1187
	人員	342	273	283	297	301	272	267	269	314	265	375	410	3668
その他	回数	15	11	14	13	15	9	16	23	24	24	18	16	198
	人員	43	83	83	51	54	39	60	95	135	124	51	89	907
合 計	回数	129	118	123	117	127	108	115	124	136	134	141	157	1529
	人員	464	503	442	426	438	339	375	404	476	465	448	595	5375

9 救急講習（平成26年度中）

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命 講習Ⅰ	97	1,827	179	50	873	105	147	2,700	284
普通救命 講習Ⅱ	26	550	63	1	12	2	27	562	65
上級救命 講習				3	54	6	3	54	6
応急手当 普及員講習 Ⅰ	1	28	3				1	28	3
応急手当 指導員講習 Ⅰ	4	10	4	3	7	10	7	17	14
普通救命 講習Ⅰ （普及員）									
救命入門 コース	1	95	10	5	269	25	6	364	35
その他講習	69	2,319	126	51	1,177	100	120	3,496	226
合 計	198	4,829	385	113	2,392	248	311	7,221	633

情 報 指 令



高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、メールやFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

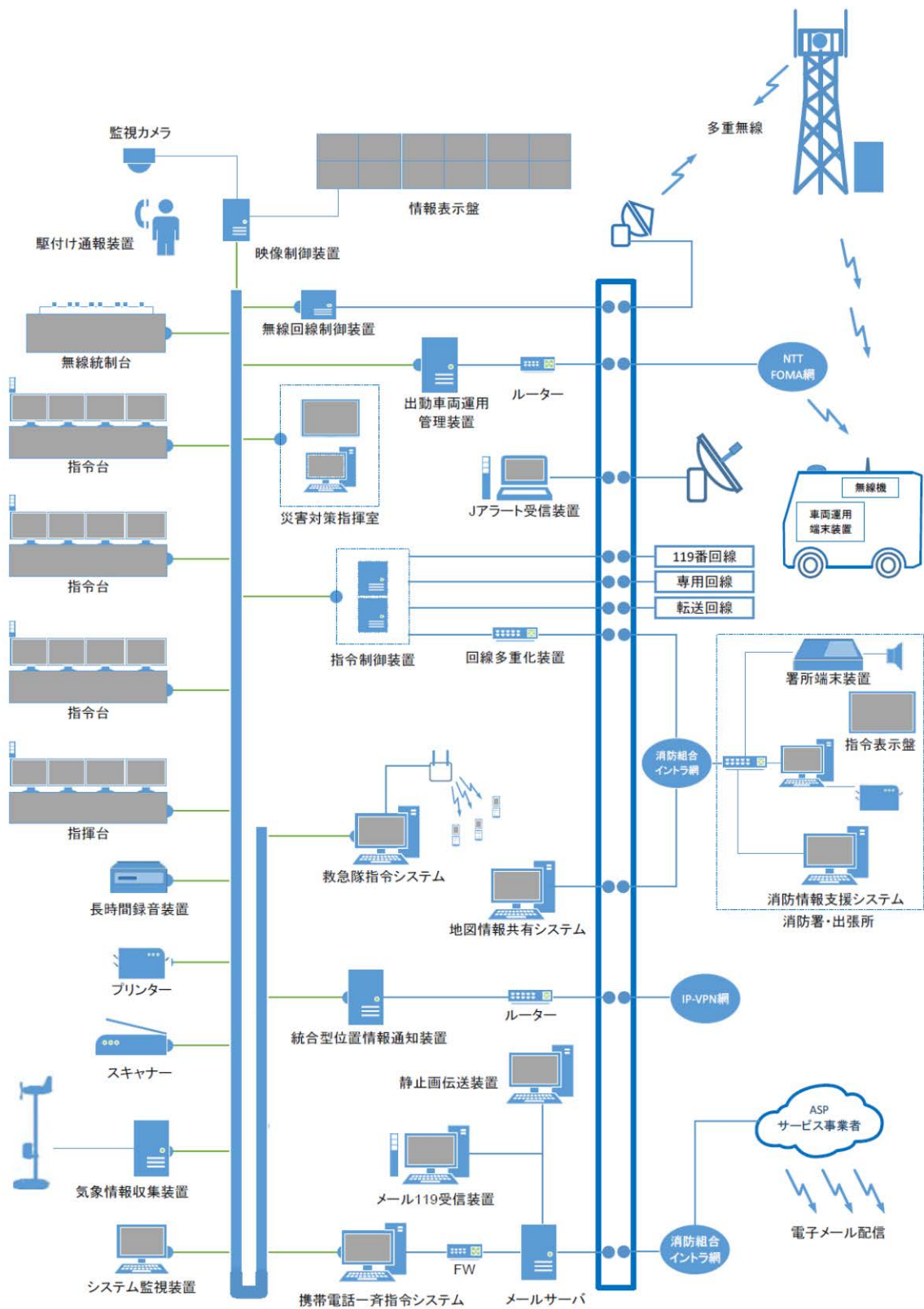
(1) 消防指令センター

機 器 名	数量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置 17. 静止画像伝送装置	一式	平成 26 年 1 月更新
山口県広域災害救急医療情報システム	一式	平成 21 年 7 月更新
宇部市緊急通報システム	一式	平成 21 年 11 月更新
宇部市防災行政無線	一式	昭和 63 年 10 月
メール 1 1 9	一式	平成 26 年 1 月更新
F A X 1 1 9	一式	平成 26 年 1 月更新
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

回線 所属	119 回線 (IP 含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局 中 央 署	5	2		2	8	4	3	1	1
東 部			1		1	1			
西 署			1		2	1			
北 部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山 陽 署			1		2	1			
埴 生			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	3	1	1

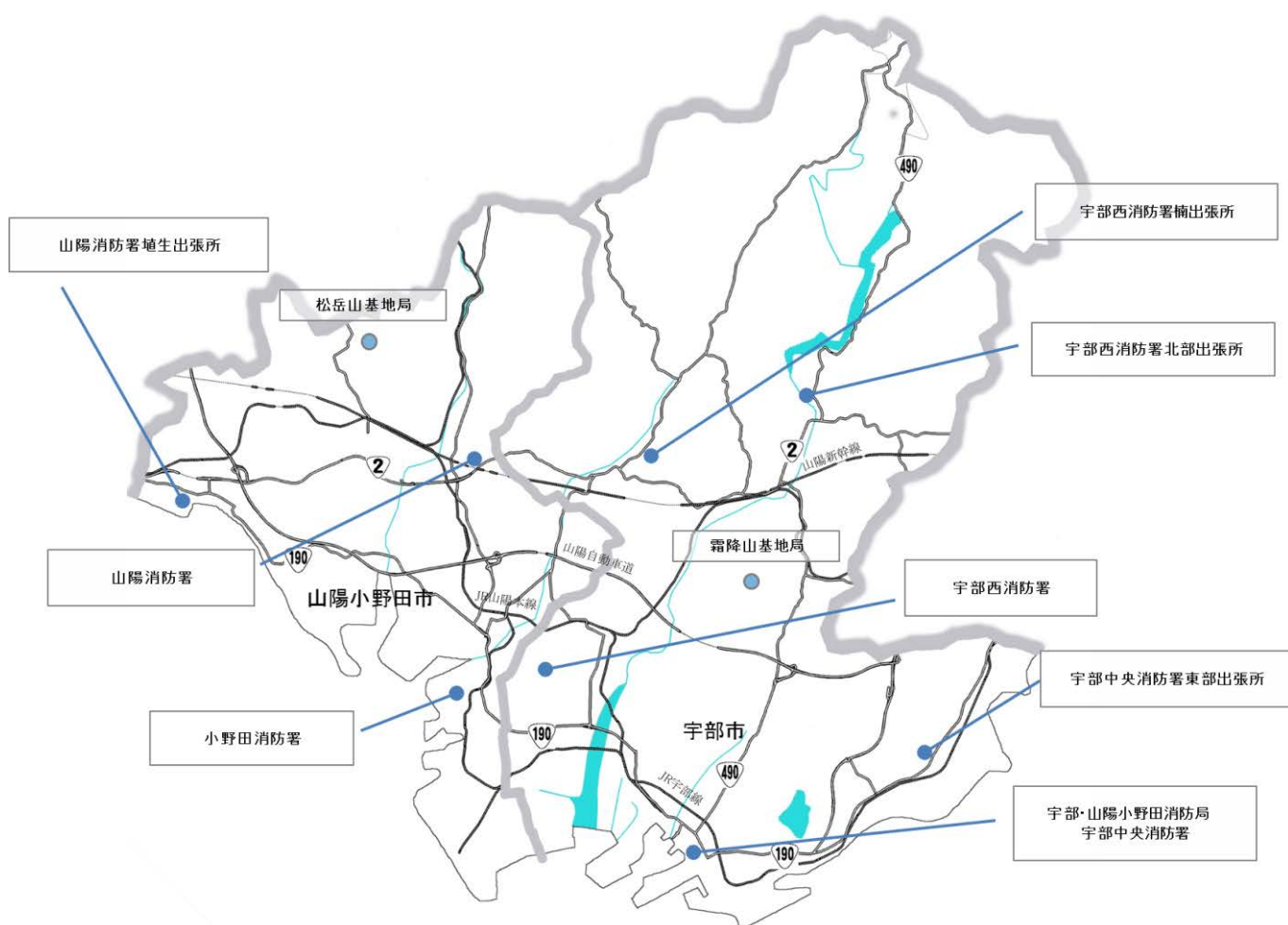
(3) システム構成図



(4) 自家用発電機

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局	100KVA	平成 19 年 2 月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成 24 年 3 月
西 消 防 署	9.9KVA	平成 22 年 6 月
北 部 出 張 所	9.8KVA	平成 26 年 1 月
楠 出 張 所	10KVA	平成 16 年 11 月
小 野 田 署	100KVA	平成 11 年 4 月
山 陽 署	35KVA	平成 25 年 3 月
埴 生 出 張 所	9.8KVA	平成 26 年 1 月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成 26 年 1 月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成 26 年 1 月

(5) 無線局

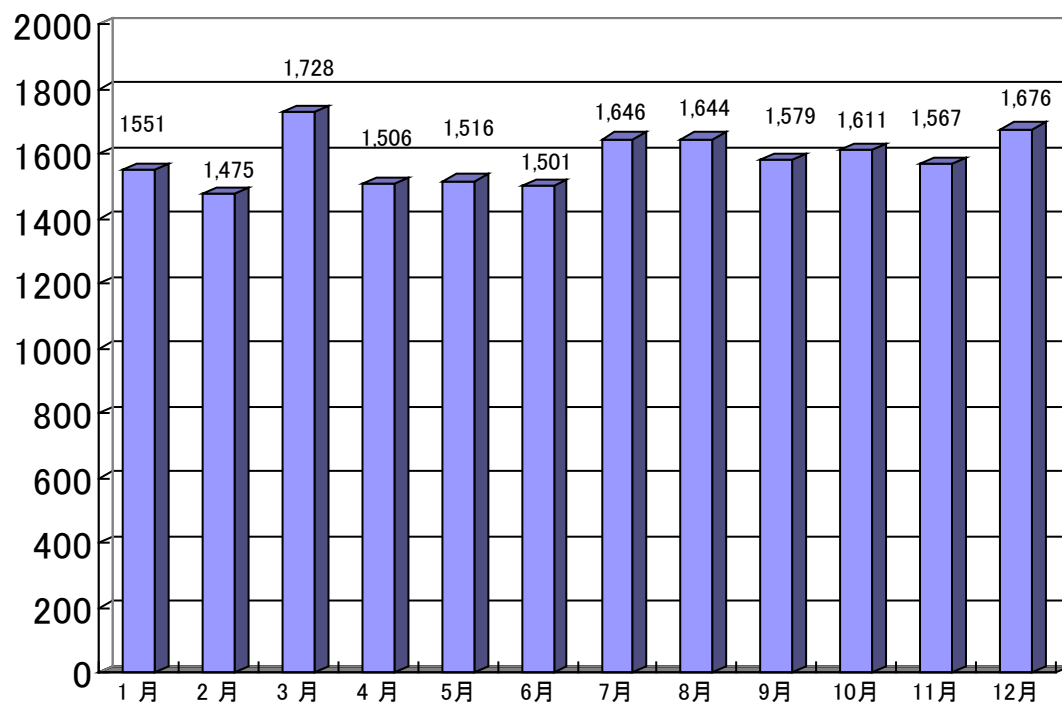


		消防局	霜降山	松岳山	中央	東部	西署	北部	楠	小野田	山陽	埴生	合計
基地局		1	1	1									3
移動局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			18	4	8	4	4	18	8	3	75
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

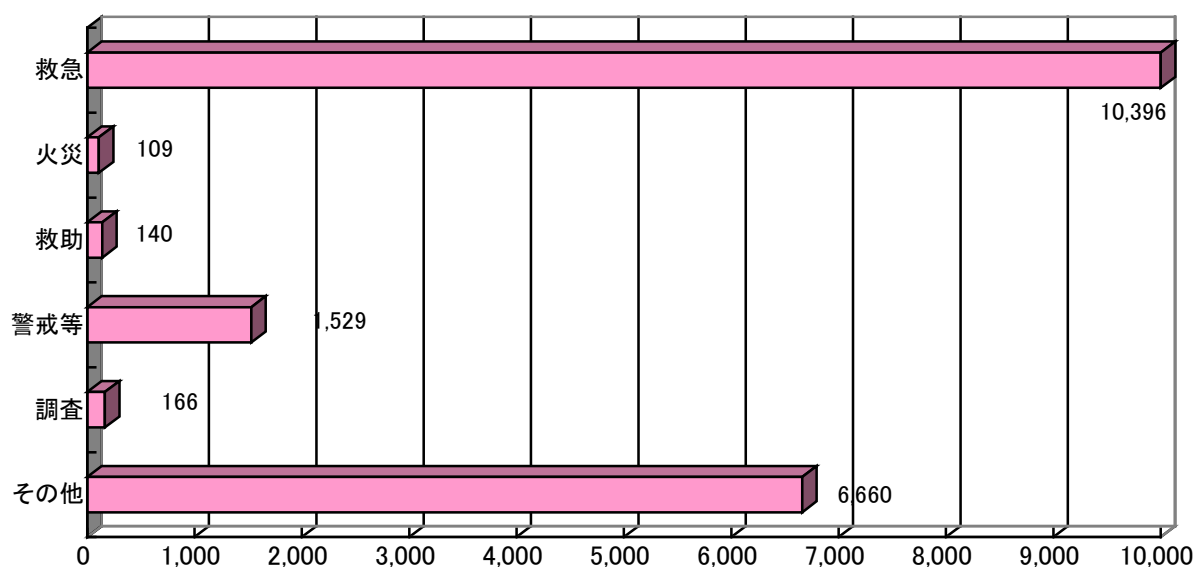
2 1 1 9 回線着信件数

月別着信件数

合計 19,000 件



種別毎着信件数



消 防 団



宇部市消防団 配備式

宇部市消防団は市民のための「安心・安全なまちづくり」に向けて消防施設整備の充実強化を図り、定例訓練・防火防災指導等に尽力しています。

特別表彰まとい

この表彰は、公益財団法人日本消防協会が行う団体表彰の中で最も栄誉のあるもので、10年以上抜群の成績を維持し、模範となる消防団に対して毎年全国で10団のみ表彰されるものである。

山陽小野田市消防団は平成25年2月26日に受章し、これを機にさらなる発展を目指して活動しています。





宇部市消防団 消防操法大会

本大会は、山口県大会の予選を兼ねて毎年８月に開催します。

応急操法と基本操法の競技種目において安全・確実・迅速をモットーに、消防技術の練磨に励んでいます。

山口県大会においても、例年上位入賞すると共に、消防団をPRし“防火防災”を図っています。



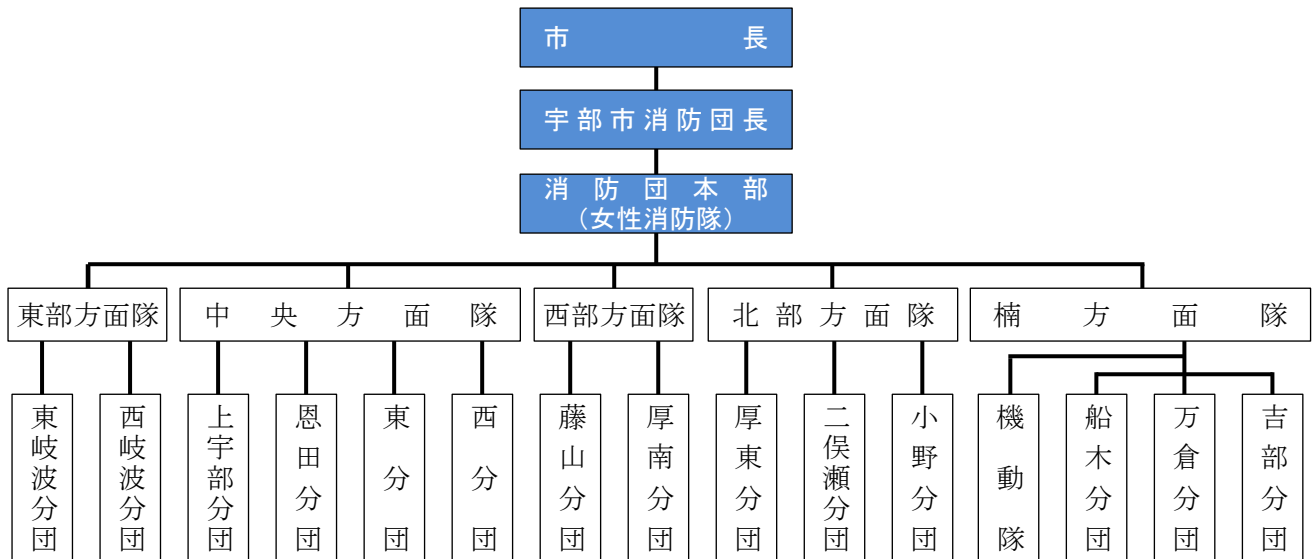
山陽小野田市消防団 消防出初式

消防団員・職員の士気の高揚と団結の強化を図るとともに、市民の防火意識の啓発することを目的に、山陽小野田市民館及びその周辺にて観閲行進、木遣・はしご乗り披露、腕用ポンプ・鈴割り演技等を行いました。



1 消防団組織系統図

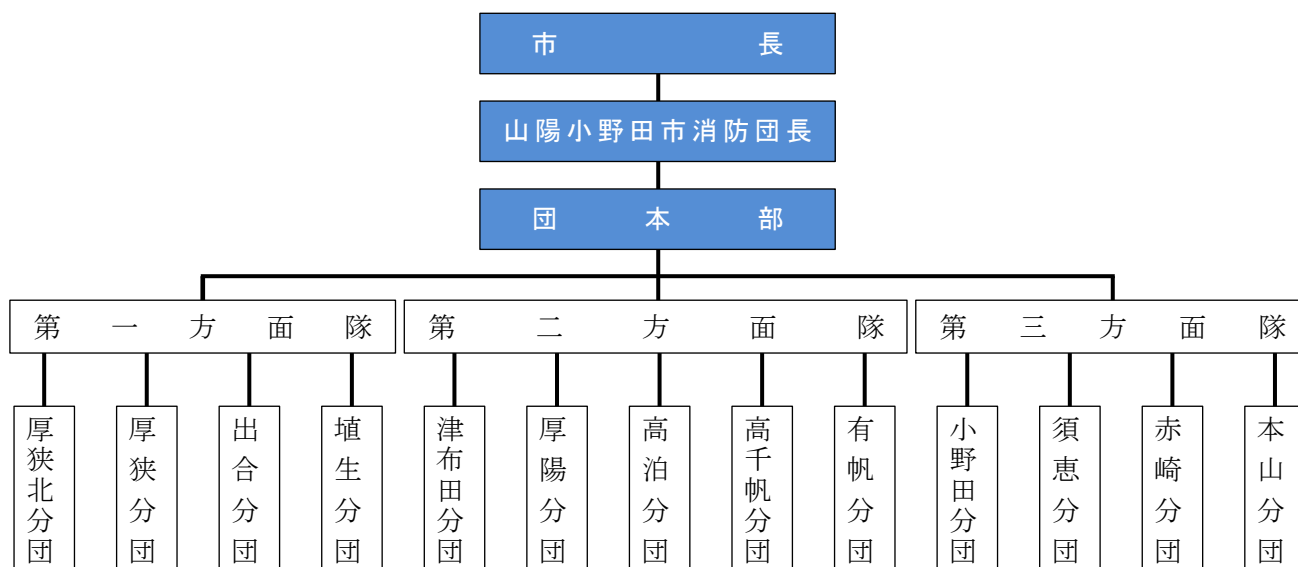
(1) 宇部市消防団



[単位：人]

消防団員	所 属 職 階 級	消防団本部	東 方 面 隊		中 央 方 面 隊				西 方 面 隊		北 方 面 隊			楠 方 面 隊				合 計	
			女性消防隊	東岐波分団	西岐波分団	上宇部分団	恩田分団	東分団	西分団	藤山分団	厚南分団	厚東分団	二俣瀬分団	小野分団	機動隊	船木分団	万倉分団		吉部分団
定 数 表 (職 階 級 別)	団 長	1																1	
	統 括 副 団 長 副 本 部 長 副 分 団 長 機 動 隊 副 長	5	《 副団長 3 人：東部・中央方面隊担当 1 人／西部・北部方面隊担当 1 人／楠方面隊担当 1 人 》															5	
	副 本 部 長 機 動 隊 長	4		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19
	副 分 団 長 機 動 隊 副 長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	部 長	5	1	5	5	3	2	3	3	2	4	3	3	5	5	3	2	2	56
	班 長		2	10	13	5	4	5	5	4	16	8	8	10	2	10	8	7	117
	団 員		17	46	52	27	18	20	20	19	50	25	27	58	11	40	38	39	507
	《 合 計 》	15	20	63	72	37	26	30	30	27	72	38	40	75	20	55	50	50	720
	《 本部／方面隊合計 》	35		135		123				99		153			175				720
実員数	平成 27 年 4 月 1 日現在	33	20	60	67	32	26	28	27	26	72	31	35	73	18	44	27	41	640

(2) 山陽小野田市消防団



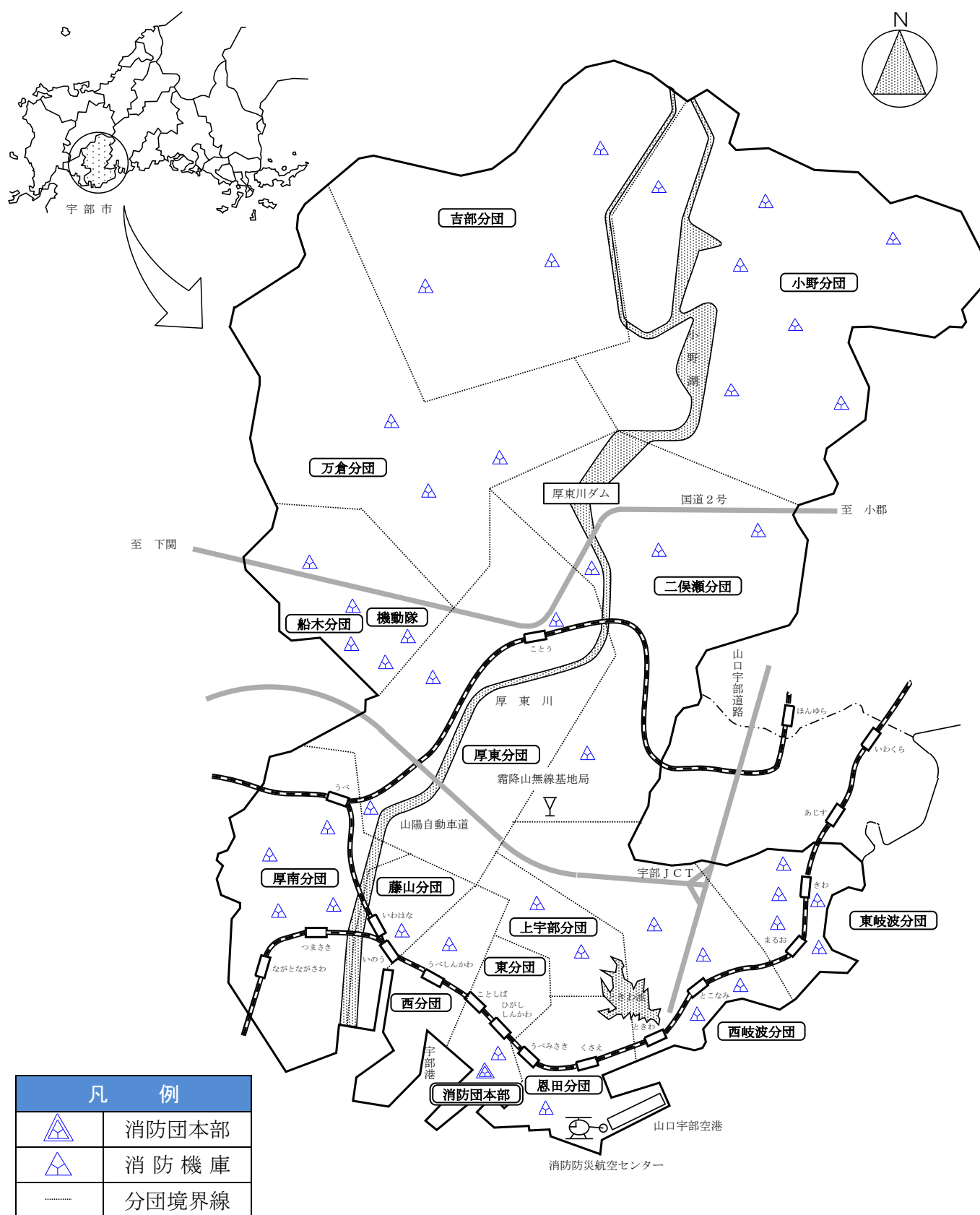
[単位：人]

消防団員	所 属	団 本 部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合 計
	職 階 級		厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団	
定数表 (職階別)	団 長	1														1
	方 面 隊 長 (副 団 長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3
	本 部 長 ま た は 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	副 本 部 長 ま た は 副 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	部 長	1	4	4	2	5	2	2	2	2	2	3	2	3	2	36
	班 長	2	7	7	3	8	3	3	3	3	3	5	3	5	3	58
	団 員	18	42	42	19	45	19	19	19	19	19	30	19	30	19	359
	合 計	27	55	55	26	60	26	26	26	26	26	40	26	40	26	485
実員数	本 部 / 分 団 平成27年4月1日現在	20 (15)	46	57	28	51	25	24	22	24	23	21	21	35	19	416 (15)

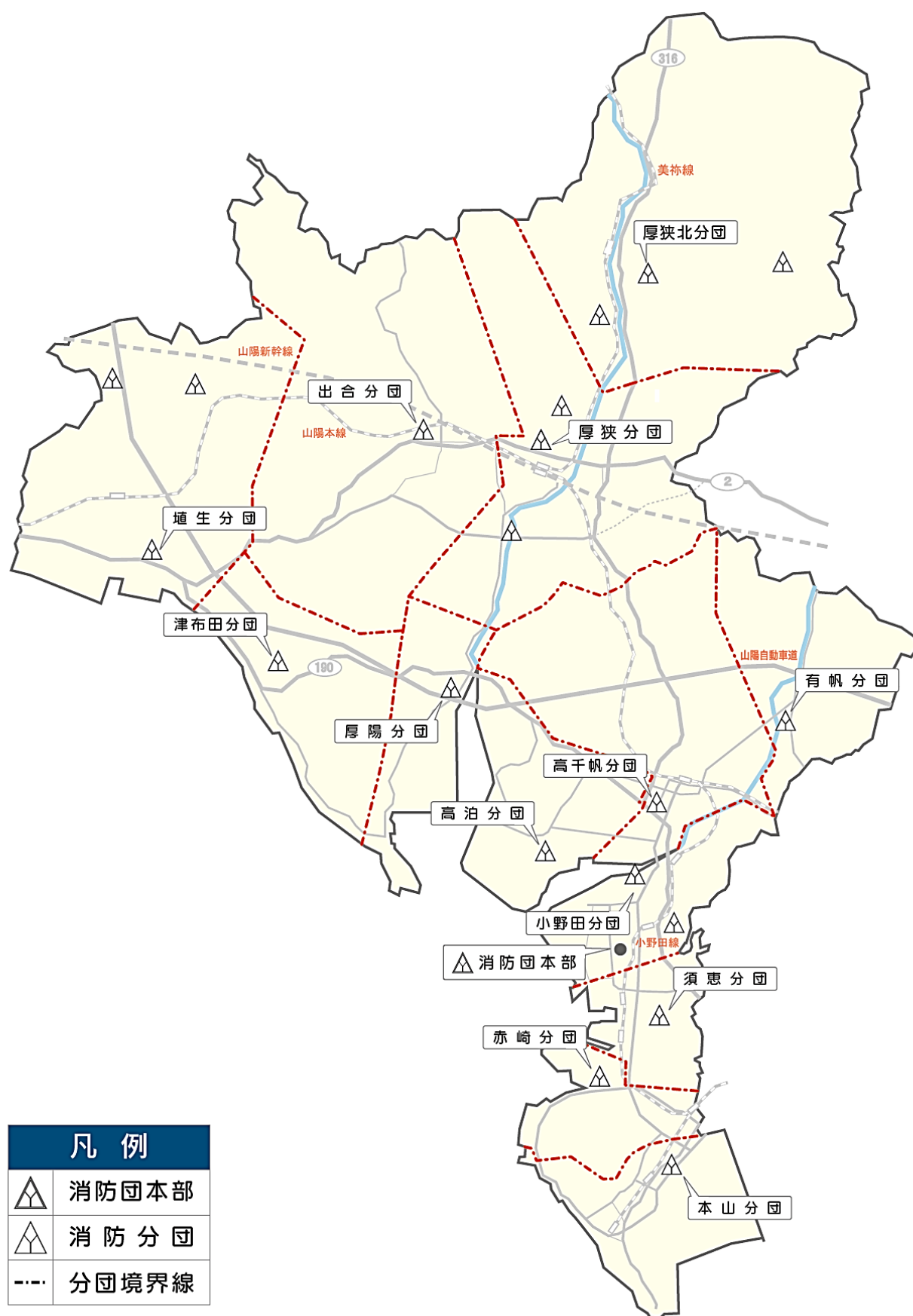
(注) 方面隊長は団本部に所属、また () 内は女性消防団員の内数

2 消防団配置図

(1) 宇部市消防団



(2) 山陽小野田市消防団



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満								
20 歳以上～25 歳未満							17	17
25 歳以上～30 歳未満							29	29
30 歳以上～35 歳未満							48	48
35 歳以上～40 歳未満						4	98	102
40 歳以上～45 歳未満					1	13	81	95
45 歳以上～50 歳未満				1	8	20	60	89
50 歳以上～55 歳未満			2		10	17	45	74
55 歳以上～60 歳未満		2	2	2	7	37	29	79
60 歳以上～65 歳未満		1	9	9	17	17	20	73
65 歳以上～70 歳未満	1	2	6	3	10	6	6	34
70 歳以上								
合 計	1	5	19	15	53	114	433	640
平 均	68	63	62	62	58	53	42	47

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満								0
20 歳以上～25 歳未満							19	19
25 歳以上～30 歳未満							28	28
30 歳以上～35 歳未満							50	50
35 歳以上～40 歳未満							59	59
40 歳以上～45 歳未満						8	72	80
45 歳以上～50 歳未満						11	29	40
50 歳以上～55 歳未満					6	14	13	33
55 歳以上～60 歳未満			1	4	14	14	17	50
60 歳以上～65 歳未満			7	5	12	9	3	36
65 歳以上～70 歳未満	1	3	5	4	2	1	3	19
70 歳以上			1					1
合 計	1	3	14	13	35	57	293	416
平 均	66	66	64	62	60	53	39	44

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							148	148
5年以上～10年未満						6	103	109
10年以上～15年未満					2	11	69	82
15年以上～20年未満			1	1	5	25	58	90
20年以上～25年未満			1		10	26	33	70
25年以上～30年未満			4	7	17	31	15	74
30年以上～35年未満		3	7	6	9	11	3	39
35年以上～40年未満		2	2	1	8	3	2	18
40年以上～45年未満			4			1	2	7
45年以上	1				2			3
合計	1	5	19	15	53	114	433	640
平均	47	34	34	29	28	22	10	15

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							93	93
5年以上～10年未満							80	80
10年以上～15年未満						5	55	60
15年以上～20年未満					3	12	37	52
20年以上～25年未満				2	4	17	18	41
25年以上～30年未満	1		1	2	12	10	6	32
30年以上～35年未満		1	4	5	7	6	2	25
35年以上～40年未満		1	5	2	5	5	1	19
40年以上～45年未満		1	2	1	4	2	1	11
45年以上			2	1				3
合計	1	3	14	13	35	57	293	416
平均	25	36	37	32	30	24	9	15

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

[単位:円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

費 用 弁 償

[単位:円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練	講 習
7,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

[単位:円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
金 額	81,000	67,500	49,000	44,000	35,500	35,000	34,500

費 用 弁 償

[単位:円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓練その他の公務	器 具 手 入 れ
7,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
消 防 団 本 部	14	46
東 岐 波 分 団	1	27
西 岐 波 分 団	1	27
上 宇 部 分 団	1	20
恩 田 分 団	0	0
東 分 団	0	0
西 分 団	2	18
藤 山 分 団	2	21
厚 南 分 団	2	56
厚 東 分 団	0	0
二 俣 瀬 分 団	1	16
小 野 分 団	2	39
機 動 隊	2	27
船 木 分 団	2	39
万 倉 分 団	1	14
吉 部 分 団	2	23
合 計	33	373

【山陽小野田市消防団】

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
団 本 部	4	5
厚 狭 北 分 団	1	21
厚 狭 分 団	0	0
出 合 分 団	0	0
埴 生 分 団	0	0
津 布 田 分 団	2	22
厚 陽 分 団	1	5
高 泊 分 団	1	1
高 千 帆 分 団	0	0
有 帆 分 団	0	0
小 野 田 分 団	0	0
須 恵 分 団	2	18
赤 崎 分 団	1	18
本 山 分 団	2	22
合 計	14	112

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫			消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
消 防 団 本 部						1
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1	1	
		丸 尾		1	1	
		岐 波 浦		1	1	
		前 田	1		1	
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1	
		住 吉	1			
		山 村		1	1	
		片 倉		1	1	
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1	
		開		1	1	
	恩 田 分 団		1			
	東 分 団		1		1	
	西 分 団		1		1	
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団		1		1	
	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1	
		妻 崎	1			
		中 野		1	1	
		東 割		1	1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	1		1	
		駅 前		1	1	
		広 瀬		1	1	
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1	
		車 地		1	1	
		上 山 中		1	1	
		善 和		1	1	
	小 野 分 団	下 小 野	1			
		上 小 野		1	1	
		市 小 野		1	1	
		楡 小 野		1	1	
		岩 川		1	1	
		臼 木		1	1	
		大 山		1	1	

所 属 ／ 機 庫			消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 （ 指 令 車 ）
楠 方 面 隊	機 動 隊		1		2	1
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下田町（１）		1	1	
		下田町（２）				
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼田ヶ原		1	1	
		土 井				
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		藤 ヶ 瀬				
荒 滝			1	1		
合 計			14 台	27 台	37 台	2 台

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両
団 本 部				2	1
第 1 方 面 隊	厚狭北分団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津布田分団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高千帆分団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小野田分団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台	0 台	15 台	1 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫			車 名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	購 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	前 田	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H27. 2
	西岐波分団	白 土	日 野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22. 2
		住 吉	日 産 BD-1	3,950	7	A-2 モリタ	S60. 12
中央方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉 谷	H14. 11
	恩 田 分 団		日 産 CD-1	4,210	8	A-2 モリタ	H 4. 12
	東 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H26. 2
	西 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23. 12
西部方面隊	藤 山 分 団		いすゞ CD-1	4,330	8	A-2 吉 谷	H 7. 3
	厚 南 分 団	西宇部	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23. 1
		妻 崎	日 産 BD-1	4,160	7	A-2 モリタ	H 2. 1
北部方面隊	厚 東 分 団	棚 井	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8. 3
	二俣瀬分団	木 田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8. 12
	小 野 分 団	下小野	日 産 BD-1	4,160	7	A-2 GMいちはら	H 2. 9
楠 方 面 隊	機 動 隊		日 野 CD-1	4,890	8	A-2 吉 谷	H12. 12

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		車 名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	購 入 年 月
第 1 方面隊	厚狭北分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20. 12
	厚 狭 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
	出 合 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20. 2
	埴 生 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
第 2 方面隊	津布田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
	厚 陽 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20. 2
	高 泊 分 団	いすゞ CD-1	4,570	7	A-2 吉 谷	H13. 3
	高千帆分団	日 産 CD-1	4,214	8	A-2 日本ドライケミカル	H 7. 3
	有 帆 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
第 3 方面隊	小野田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27. 3
	須 恵 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22. 3
	赤 崎 分 団	日 産 CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15. 3
	本 山 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20. 12

(3) 小型動力ポンプ積載車

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫			車 名 / 型 式		排 気 量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	購 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	日 産	L - BF22 改	1,590	6	S63. 10
		丸 尾	ダイハツ	EBD - S331W	650	4	H20. 12
		岐 波 浦	ダイハツ	V - S110W	650	4	H10. 11
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8. 3
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H12. 3
中央方面隊	上宇部分団	開	日 産	KG - SR8F23	3,150	6	H10. 3
西部方面隊	厚南分団	中 野	日 産	T-SJ2F23 改	1,621	6	H 5. 12
		東 割	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8. 3
北部方面隊	厚東分団	駅 前	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H 9. 9
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H11. 12
	二俣瀬分団	車 地	い す ゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22. 3
		上 山 中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25. 2
		善 和	ダイハツ	V-S110P	650	4	H 9. 10
	小野分団	上 小 野	ダイハツ	V-S110P 改	650	4	H 8. 2
		市 小 野	日 産	L-BF22 改	1,590	6	H 1. 12
		楢 小 野	日 産	ZD30	2,950	6	H20. 2
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14. 2
		臼 木	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H11. 12
		大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25. 2
楠方面隊	船木分団	綿 屋 町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18. 2
		下田町(1)	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18. 2
		新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3
	万倉分団	栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21. 12
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3
	吉部分団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21. 12
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫			ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	購 入 年 月
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20. 12
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10. 11
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-2	H27. 2
	西 岐 波 分 団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22. 2
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8. 2
		片 倉	ラビット	一段タービン	B-3	H14. 2
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14. 11
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	H20. 1
	東 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	H26. 2
	西 分 団		ラビット	一段タービン	B-2	H23. 12
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団		トーハツ	一段タービン	B-3	H 7. 3
	厚 南 分 団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23. 1
		中 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8. 2
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 3
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9. 9
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3. 11
	二 俣 瀬 分 団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 12
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22. 3
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25. 2
		善 和	シバウラ	一段タービン	B-3	H10. 10
	小 野 分 団	上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7. 2
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3. 11
		楢 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20. 2
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4. 12
		臼 木	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		大 山	トーハツ	一段タービン	B-2	H25. 2
楠 方 面 隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18. 7
			トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 12
	船 木 分 団	綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
		下田町(1)	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
	万 倉 分 団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21. 12
		沼田ヶ原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 12
	吉 部 分 団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21. 12
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 12

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	購 入 年 月
団 本 部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
		トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 2
第 1 方面 隊	厚 狭 北 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 2
	厚 狭 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	出 合 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	埴 生 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
第 2 方面 隊	津 布 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	厚 陽 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 3
	高 泊 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H 7. 9
	高 千 帆 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H 7. 9
	有 帆 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H27. 3
第 3 方面 隊	小 野 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	須 恵 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	赤 崎 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	本 山 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指 令 車)

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排 気 量 (c c)	乗 車 定 員 (人)	購 入 年 月
消 防 団 本 部	日 産	CBA-NC25	1, 990	8	H18. 2
機 動 隊	ス バ ル	TA-SG5	1, 990	5	H14.12

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排 気 量 (c c)	乗 車 定 員 (人)	購 入 年 月
団 本 部	ト ヨ タ	CBA-ANM10G	2, 000	7	H17. 2

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

所 属 ／ 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
東 部 方面隊	東岐波分団	花 園	東岐波 2777-3	60.00	30.48	S60.12
		古 殿	東岐波 494-4	96.64	25.63	S55. 3
		丸 尾	東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54. 3
		岐波浦	東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4.12
		前 田	東岐波 1777	38.71	38.71	H27. 2
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22. 3
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9. 3
		山 村	西岐波 2478	300.00	30.48	H 6. 3
		片 倉	西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10. 1
中 央 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48.12
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10. 3
	恩 田 分 団		八王子町 636-9	126.24	30.00	S48.12
	東 分 団		松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32.11
	西 分 団		島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24. 3
西 部 方面隊	藤 山 分 団		文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8. 3
	厚 南 分 団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23. 3
		妻 崎	東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47. 2
		中 野	東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13. 3
		東 割	妻崎開作 1	111.09	22.21	S52.10
北 部 方面隊	厚 東 分 団	棚 井	棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8. 3
		駅 前	吉見 966-12	79.25	30.48	H 7. 4
		広 瀬	広瀬 560-1	11.46	11.46	S62.12
	二俣瀬分団	木 田	木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53. 2
		車 地	木田 173	30.48	30.48	H 2. 2
		上山中	山中 411-9	119.00	28.97	H15.12
		善 和	善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9. 3
	小 野 分 団	下小野	小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61. 6
		上小野	小野 3677	13.20	12.67	S54. 3
		市小野	小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50.12
		楡小野	楡小野 534-2	38.50	21.00	S48.10
		岩 川	小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14.11
		臼 木	小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	S60. 3
		大 山	小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4.12

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
楠 方 面 隊	機 動 隊		船木 442-10	99.10	41.83	S58. 3
	船 木 分 団	綿 屋 町	船木 184	161.98	16.20	H12. 3
		下田町(1)	船木 690-5	147.16	18.25	H18. 2
		下田町(2)	船木 635	23.00	9.04	S56. 2
		新 川	船木 3648-1	801.90	20.22	H26. 2
	万 倉 分 団	栄 町	西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60. 1
		沼 田ヶ 原	芦河内 11-6	213.00	25.20	H16. 12
		土 井	奥万倉 168-3	43.61	10.50	S55. 3
	吉 部 分 団	中 市	東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13. 11
		藤ヶ 瀬	西吉部 461	495.86	13.15	H 4. 2
		荒 滝	東吉部 1086	542.14	18.25	H14. 3

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
第1方面隊	厚 狭 北 分 団	厚 狭 北 分 団 庫	大字厚狭字上赤川 5112 番地 5(赤川)	287.18	67.50	H20. 3
		赤 川 防 災 倉 庫	大字厚狭 5723 番地 1(沓山田)	188.70	12.20	H 1. 1
		森 広 防 災 倉 庫	大字厚狭 2708 番地 3(森広)	—	12.60	—
	厚 狭 分 団	厚 狭 分 団 庫	大字鴨庄 81 番地 6(寝太郎二) 仮設山陽総合事務所車庫併設	—	—	—
		厚 狭 防 災 倉 庫	大字鴨庄 98 番地 1(千町 5)	—	78.00	S59.12
		鴨 庄 防 災 倉 庫	大字鴨庄 950 番地 5(鴨庄西) 山陽総合事務所敷地内	—	12.40	—
		下 津 防 災 倉 庫	大字郡 2013 番地 5(西下津)	324.45	22.30	H 3 . 1
	出 合 分 団	出 合 分 団 庫	大字山野井 2743 番地(栗田)	167.71	49.95	H 1 9 . 3
	埴 生 分 団	埴 生 分 団 庫	大字埴生 525 番地 1(東側) 埴生支所併設	—	34.10	—
		福 田 防 災 倉 庫	大字福田 777 番地 9(下福田)	55.10	24.00	S 6 1 . 3
		大 持 防 災 倉 庫	大字埴生 3133 番地 5(大持)	94.53	17.50	H 3 . 1 2
第2方面隊	津 布 田 分 団	津 布 田 分 団 庫	大字津布田 1061 番地(東郷)	436.75	31.05	H16.11
	厚 陽 分 団	厚 陽 分 団 庫	大字郡 3976 番地 17(渡場)	282.00	49.95	H 1 9 . 3
	高 泊 分 団	高 泊 分 団 庫	大字西高泊 1768 番地 1(郷)	164.82	49.95	S 6 1 . 3
	高 千 帆 分 団	高 千 帆 分 団 庫	日の出一丁目 1 番 1 号(新生町第 一)山陽小野田市役所併設	—	58.48	H 7 . 3
	有 帆 分 団	有 帆 分 団 庫	大字有帆 742 番地 1(杵築)	174.25	52.65	S 6 0 . 3
第3方面隊	小 野 田 分 団	小 野 田 分 団 庫	栄町 7 番 3 号(栄町)	95.52	48.19	H 2 . 3
		小 野 田 防 災 倉 庫	大字小野田 6114 番地 3(南中川)	170.56	52.00	S55.11
	須 恵 分 団	須 恵 分 団 庫	港町 7 番(港町)	267.40	61.84	H 1 2 . 2
	赤 崎 分 団	赤 崎 分 団 庫	赤崎一丁目 1 番 5 号(西の浜)	174.25	52.65	S 6 0 . 3
	本 山 分 団	本 山 分 団 庫	大字小野田 1967 番地(浜河内)	498.31	52.00	S57.12

消防団協力事業所表示制度

《 登録事業所一覧 》

【宇部市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口宇部農業協同組合	平成 22 年 3 月 1 日
2	ルネサスセミコンダクタ マニファクチャリング株式会社山口工場	平成 22 年 3 月 1 日
3	宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場	平成 22 年 3 月 1 日
4	宇部マテリアルズ株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
5	チタン工業株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
6	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
7	船木鉄道株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
8	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
9	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成 23 年 3 月 1 日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	T H K株式会社 山口工場	平成 23 年 3 月 18 日
2	厚和産業株式会社	平成 23 年 3 月 18 日
3	日鍛バルブ株式会社 山陽工場	平成 23 年 3 月 18 日
4	化薬アクゾ株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
6	日産化学工業株式会社 小野田工場	平成 23 年 3 月 18 日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成 23 年 3 月 18 日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成 23 年 3 月 18 日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成 23 年 3 月 18 日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月
1	山口宇部農業協同組合	平成 23 年 2 月
2	厚和産業株式会社	平成 23 年 2 月

消 防 年 報

(平成26年版)

発 行 日 平 成 2 7 年 (2 0 1 5 年) 6 月

発 行 者 宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局
山口県宇部市港町二丁目3番30号

U R L <http://www.ube-sansho119.jp/>

E - M a i l kikaku@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 企画財政課
TEL(0836)21-6119 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 企画財政課